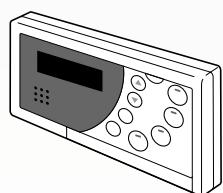
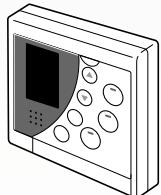
石油給湯機付ふろがま

取扱説明書 保証書付

自動タイプ
品名
CKX-P470AF
CKX-P4700AE

（F-034DA）

（M-034DA）

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
＊保証書（裏表紙）は必ず設置日・販売店名などの記入を確かめてください。
＊この取扱説明書（保証書付）はいつでもご覧になれるところに保管してください。

長府工産株式会社

SEB8227

こんなことができます

お湯を出す

P19

給湯温度

お湯をお好みの温度に設定して使用できます

おふろにお湯をためる・沸かす／残り湯を沸かし直す

P22／P26

設定した温度･湯量で自動沸かし

▽

自動保温で湯温をキープ

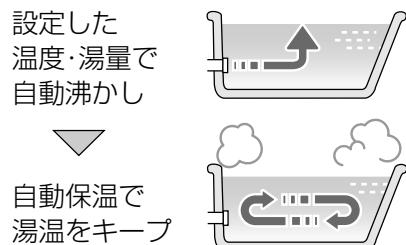
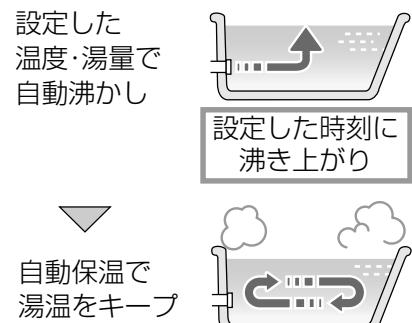
お好みの時刻に沸き上がるよう設定する

P34

設定した温度･湯量で自動沸かし

設定した時刻に沸き上がり

▽

自動保温で湯温をキープ

追いだきをする

P29

おふろに たし湯をする

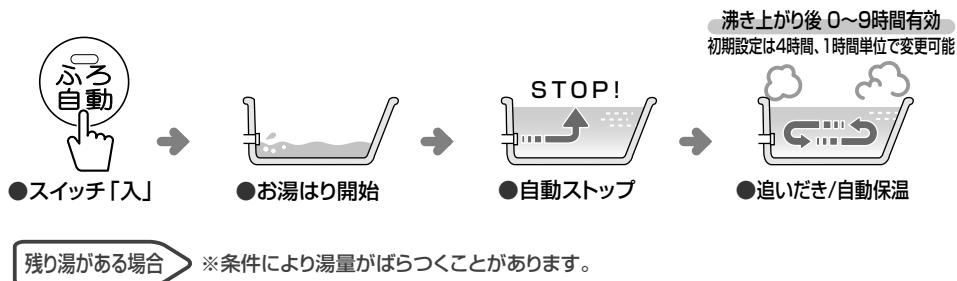
P32

おふろに たし水をする

P33

製品の特徴

■ふろ自動スイッチを押すだけで、おふろにお湯をためる・沸かす・自動保温までを自動でおこないます。

残り湯がある場合 ※条件により湯量がばらつくことがあります。

■浴槽へのお湯はりの量は量(リットル)で設定します。(☞P28)

■残り湯をふろ自動で沸かし直すと、沸き上がりの湯量が設定量と異なることがあります。(☞P26)

■おふろの配管内に残っているお湯を新しいお湯で洗い流す「ふろ配管クリーン」をおこなうことができます。(手動でふろ配管クリーンをする ☞P39)

ふろ自動で困ったときは

浴槽へのお湯はりが、思いどおりの湯量にならないことがあります。
その場合は以下の方法をお試しください。

二番湯以降、

 を押しても

おふろのお湯が増えない・・・

たし湯 でお湯の量を

増やしてください。(☞P32)

二番湯以降、

 を押したら

お湯の量が増えてしまった!

追いだき で沸かすと(☞P29)

お湯の量は増えません。

翌日、残り湯を で

沸かし直すと、お湯の量が

増えてしまう

(あふれてしまう)

 で沸かし直してください。

(☞P29)

＊P56「設定したふろ湯量どおりに沸き上がらない」もご覧ください。

もくじ

まずはじめに

給湯

おふろ

その他の機能

必要なときに

特に注意していただきたいこと-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠警告(WARNING)	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意(CAUTION)	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い(NOTICE)	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠警告(WARNING)

ガソリン厳禁

ガソリン厳禁

灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。

禁止

排気筒トップの閉そく危険

【屋内設置・強制排気形の場合】

排気筒が詰まったり、ふさがったままで使用しないでください。閉そくしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

禁止

排気筒外れ危険

【屋内設置・強制排気形の場合】

排気筒に穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

特に注意していただきたいこと-2

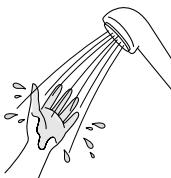
⚠注意(CAUTION)

高温注意

高温注意

次の事項に気をつけてください。やけどのおそれがあります。

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。

入浴時は、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

ふろ自動・沸かし直し・追いだき中は、循環口付近があつくなるのでさわらない

循環口

ふろ自動・追いだき中に同時にお湯を使用した場合、またはお湯の使用直後にふろ自動・追いだきをした場合、循環口からの吹き出し温度が高くなるため、注意する

お湯の使用中は、浴槽水の有無に関わらず、循環口からあついお湯が出たり、まわりが高温になる場合があるため、注意する

接触禁止

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は排気口・排気筒トップやその周辺に手などふれないよう注意してください。
やけどのおそれがあります。

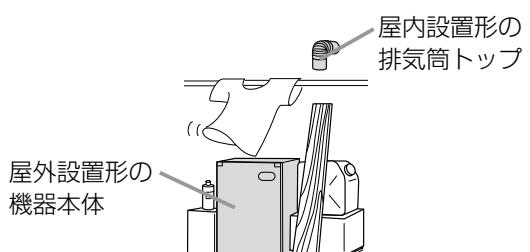
禁止

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。

禁止

燃えやすい物をまわりに置かない（洗濯物、新聞紙、灯油など）

火災の原因になります。

禁止

排気口・排気筒トップのすぐ前に物を置かない

異常燃焼や火災の原因になります。

必ず
おこなう

異常時はただちに使用を中止する

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従ってください。

1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチ「切」にする
3. 送油バルブ・給水元栓を閉める
4. 販売店または、弊社に連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。

必ず
おこなう

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる

油漏れにより、火災の原因になります。

禁止

変質灯油・不純灯油を使用しない

変質灯油（日光の当たる場所や温度の高い場所で長期間保管して変質した灯油）や、不純灯油（灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油）は使用しないでください。
機器の故障の原因になります。

禁止

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

感電、ショート、火災の原因になります。

（つづく）

（つづき）

ぬれ手禁止

感電注意

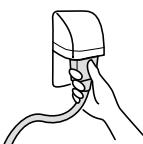
電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

必ずおこなう

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不充分だと、
感電や火災の原因になります。

必ずおこなう

電源プラグのほこりは定期的に取る

ほこりがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

必ずおこなう

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに、凍結を予防するため、必要な処置をしてください。（☞P50～51）
火災や予想しない事故の原因になります。

必ずおこなう

電源プラグは、コードを持たずにプラグを持って抜く

コードを持って抜くと、
コードが破損し、発熱、
火災、感電の原因になります。

分解禁止

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

異常作動してけがの原因となります。

必ずおこなう

この機器の電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です

他の電源で使用すると、故障・火災の原因になります。

禁止

子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。

禁止

お湯の中にもぐったり、循環口のフィルターをはずして使用しない

運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、けがをするおそれがあります。

禁止

ゴム製送油管を屋外で使用しない

油漏れにより火災のおそれがあります。

禁止

太陽熱温水器とは絶対に接続しない
（ソーラー接続ユニットを使用する場合は除く）

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

禁止

ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

火災の原因になります。

禁止

給湯、シャワー、おふろを沸かす以外の用途には使用しない

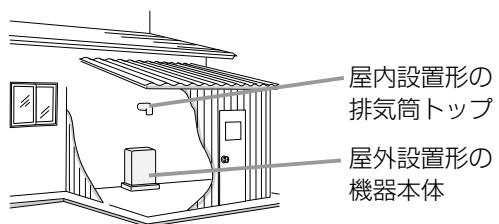
思わぬ事故を予防するため。

禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口・排気筒トップのまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

禁止

増改築などで屋内状態にしない
（波板囲いなどをしない）

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

特に注意していただきたいこと-3

お願い(NOTICE)

電源プラグを抜く

ぬれ手禁止

感電注意

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く（またはブレーカーを落とす）

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグをコンセントに差し込み、時計を合わせてください。

※テレビリモコンをお使いの場合、アンテナからの誘導雷の被害は防ぐことはできませんので、保安器（避雷器）を設置してください。
※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。
※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

ぬれた手でさわらない
（感電のおそれがあります）

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

運転ランプの消灯を確認する

おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチ「切」の状態であることを確認してください。

スス取り剤を使用しない

スス取り剤を使用すると、熱交換器等の損傷を起こす場合がありますので、絶対に使用しないでください。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合は保証期間内でも有料修理になります。

灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温・直射日光をさけた場所に保管する

灯油が変質する原因になります。

凍結による破損を予防する（☞P48～51）

あたたかい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

台所リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気をあてない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

浴室リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

浴槽の循環口のフィルターはこまめに掃除する

ポンプ故障の予防のため。

**浴槽の循環口をタオルなどでふさがない
穴に物を詰めない**

おふろ沸かしができません。
機器の故障の原因になります。

（つづく）

（つづき）

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
（機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、弊社に確認してください）

硫黄（イオウ）を含んだ入浴剤は使用しない

入浴剤・ふろがま洗浄剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・ふろがま洗浄剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させたり、ポンプの能力が低下する原因になるものがあります。
これらを使用して追いだきしたときに、異常音が出たり、追いだきできなくなる場合は、使用をやめてください。
ふろがま洗浄剤の使用に際しては、注意書きをよく読み、すすぎを充分におこなってください。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉じる

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは、飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

積雪時には給・排気口、排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給・排気口、排気筒トップがふさがれると、不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

使用前の準備-1

⚠警告		排気筒外れ危険
排気筒を、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。 穴があいたり外れたりしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。		

⚠注意		排気口・排気筒トップのすぐ前に物を置かない
異常燃焼や火災の原因になります。		

⚠注意		燃えやすい物をまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)
火災のおそれがあります。		

⚠注意		オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる
油漏れにより、火災の原因になります。		

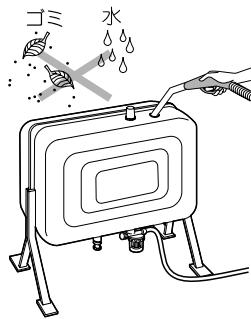
燃　料

⚠警告		ガソリン厳禁
灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。 火災のおそれがあります。		

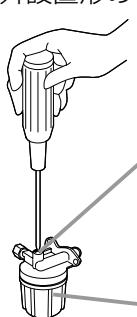
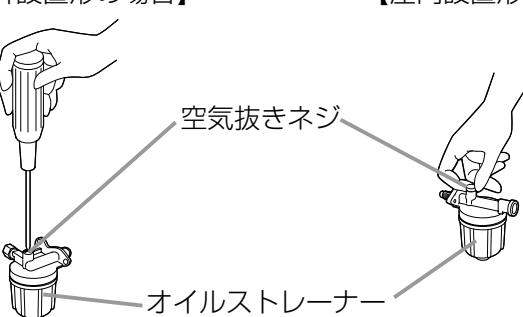
⚠注意		変質灯油・不純灯油を使用しない
変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で長期間保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)は使用しないでください。機器の故障の原因になります。		

給　油

● 給油の際の注意 ●

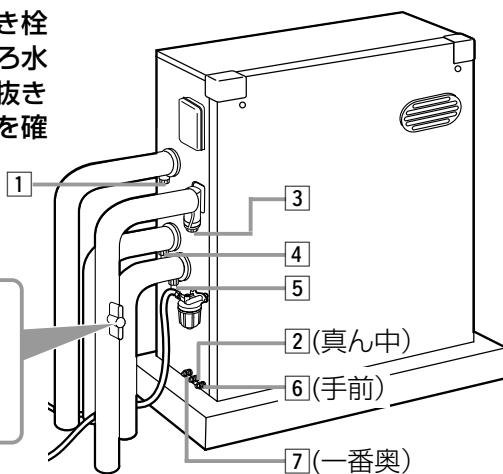
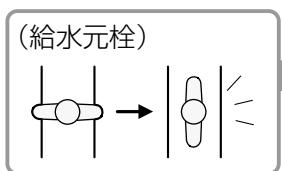
＊必ず運転スイッチ「切」にしてからおこなってください。
＊水やゴミなどが入らないよう、特に注意してください。
＊給油が終わった後、給油口のふたは確実に閉めてください。
＊こぼれた灯油は、よくふきとってください。

● 空気抜きの方法 ●

オイルタンクを空にすると、送油配管内に空気がはいり、次回使用するときに着火がスムーズにできない場合があります。

1. 給油後、オイルタンクの送油バルブを開く。
2. オイルストレーナーの空気抜きネジをゆるめる。(オイルストレーナーの位置(☞P12～13)
(このとき、灯油があふれ出てきたら空気抜きが完了です。こぼれた灯油は、よく拭きとってください)
3. 空気が抜けた後は、空気抜きネジを元の位置までしっかりと締め付ける。

【屋外設置形の場合】　【屋内設置形の場合】

運転開始前の準備と確認

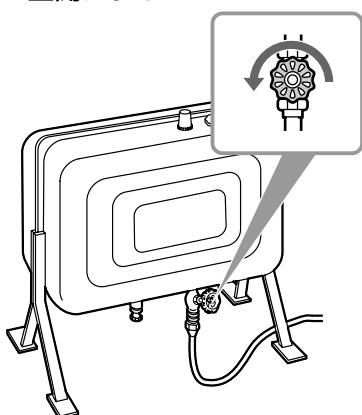
屋外設置形で説明していますが、屋内設置形でも手順は同じです。

1

1. 過圧防止安全装置(水抜き栓付)1・水抜き栓23・ふろ水抜き栓456・ポンプ水抜き栓7が閉まっていることを確認する
2. 給水元栓を全開にする

2

給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める

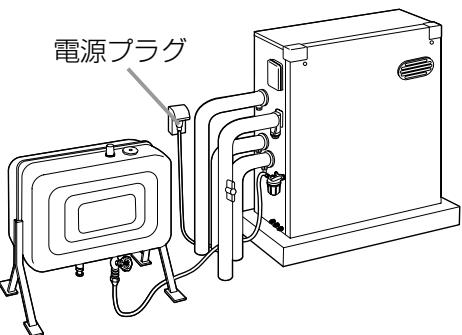
3

オイルタンクの送油バルブを全開にする

4

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないか、確認する

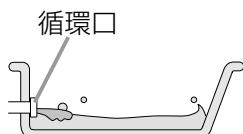
5

電源プラグをコンセントに差し込む **ぬれた手でさわらない**

※対震自動消火装置が自動的にセットされます。

6

浴室リモコンでポンプの呼び水をする

1. を「入」にし、 を「入」にする

2. 浴槽の循環口から水が出てくることを確認する

【浴室リモコン】

※リモコンに表示「110」「120」が出たときは、運転スイッチをいったん「切」にし、もう一度 手順6の1.よりやり直してください。

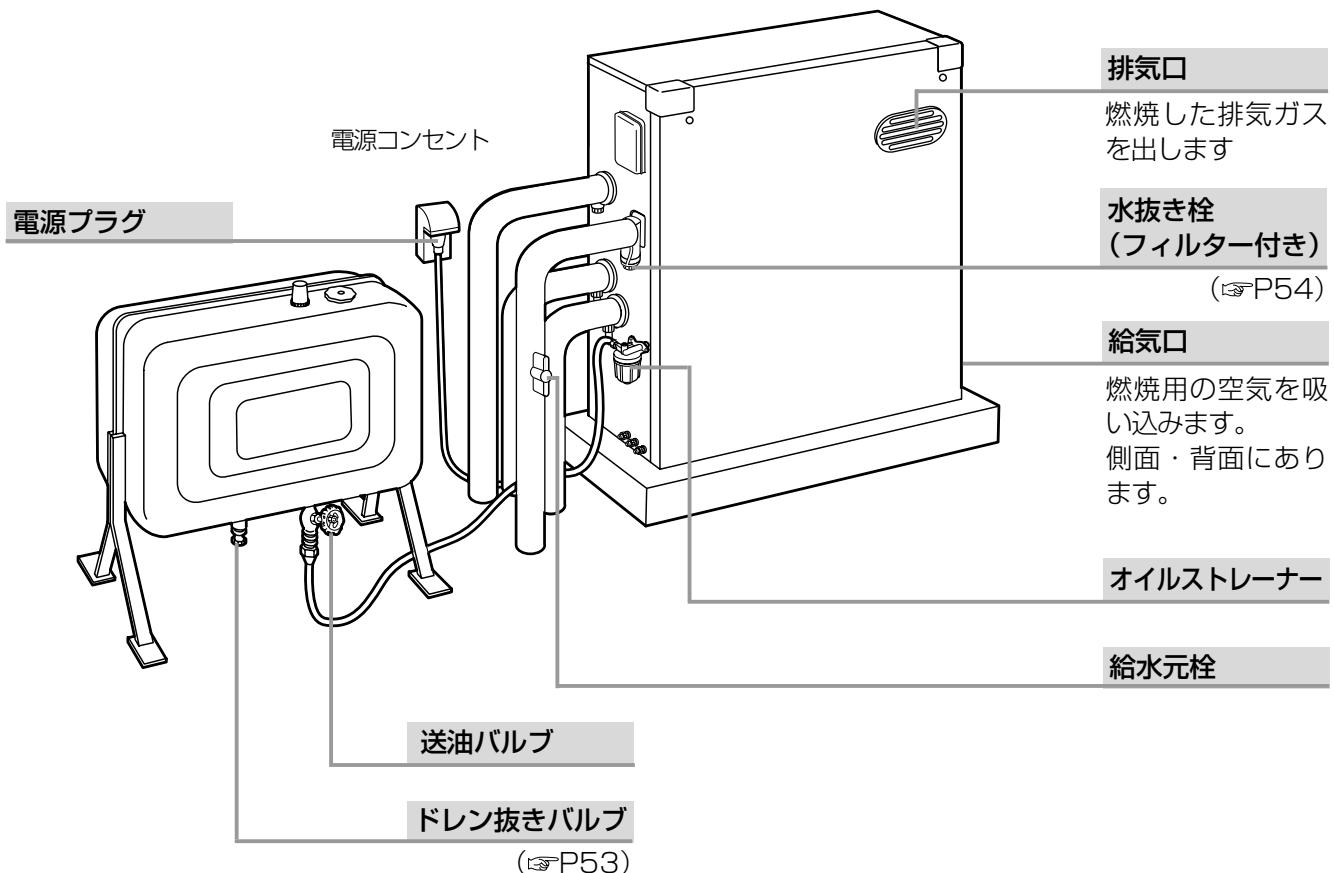
3. を「切」にする

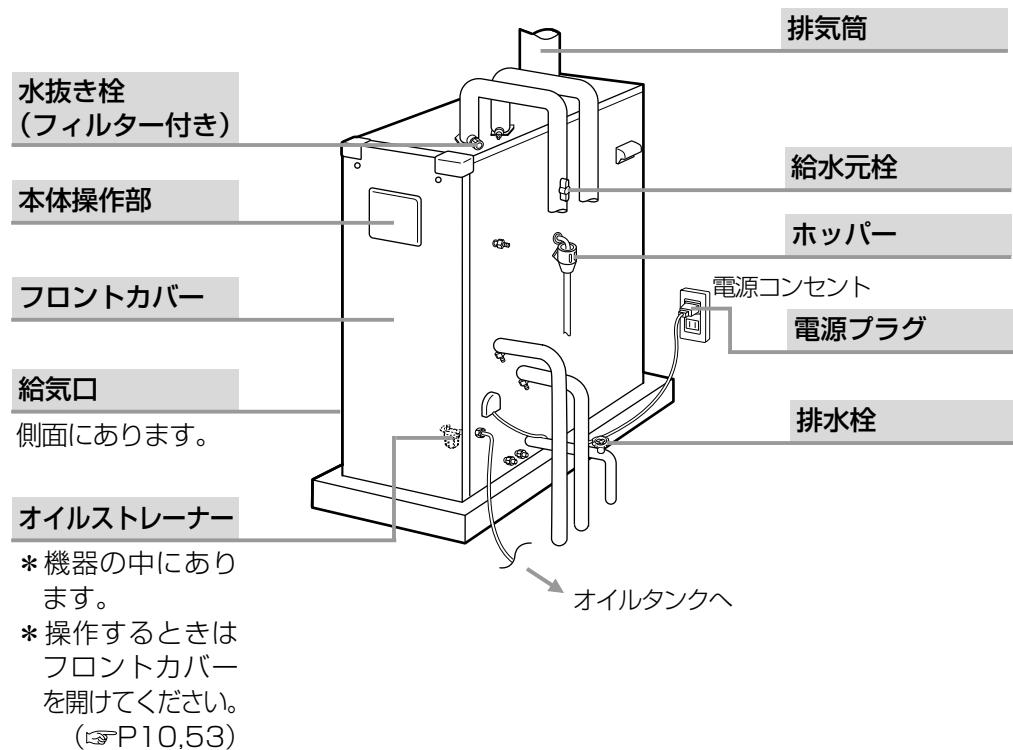
4. 機器を使用しない場合は を「切」にする

各部のなまえとはたらき(機器本体)

イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・オイルタンク・電源コンセントの位置など実際と異なります。

● 屋外設置形 ●

CKX-P470AF

● 屋内設置・強制排気形 ●

CKX-P4700E

各部のなまえとはたらき(リモコン)-1

浴室リモコン(F-034DA)

浴室に付いているリモコンです。スイッチを押すと操作音が鳴り、操作の内容を音声でお知らせします。
音量を変更したり、音声ガイドをやめたりすることもできます。(☞P36,45～46)

表示画面
(☞次ページ)

給湯温度スイッチ
給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。(☞P20)

運転スイッチ・ランプ(緑)
運転の入･切に。

ふろ自動スイッチ・ランプ(オレンジ)
おふろにお湯をためる・沸かすときに。(☞P22～23)

追いだきスイッチ・ランプ(赤)
追いだきをするときに。(☞P29)

スピーカー

呼び出しスイッチ・ランプ(赤)
浴室から台所を呼び出したいときに。(☞P37)

音量スイッチ
リモコンの音量が変更できます。(☞P36)

優先スイッチ
給湯温度スイッチを押しても給湯温度が変更できない場合、このスイッチを押してください。(☞P21)

【ふたを開けたときのスイッチ】

ふ ろ 給湯・シャワー
ふろ温度
ふろ湯量
運転 入/切
たし湯
たし水
呼出

ふろ温度スイッチ
ふろ温度の設定に。(☞P27)

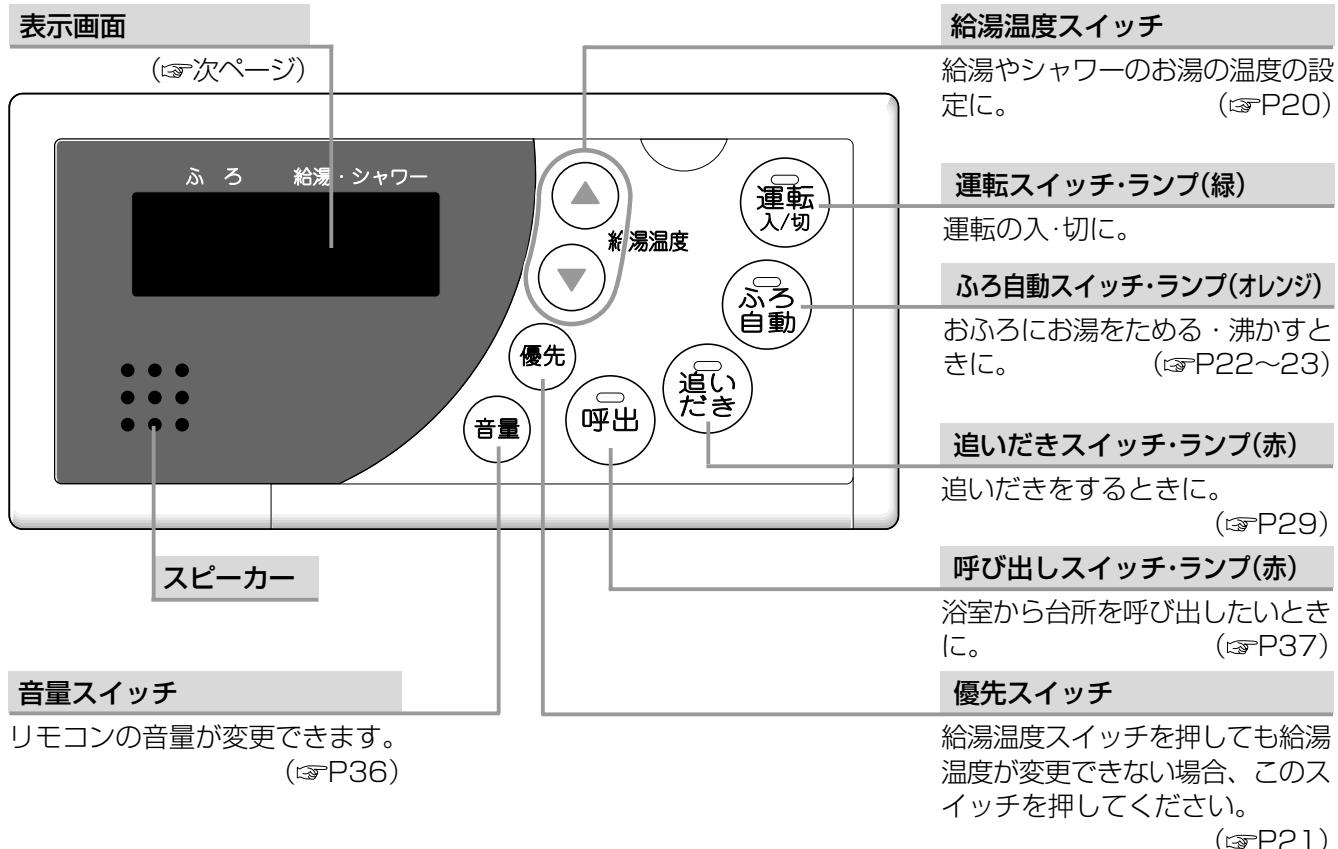
運転スイッチ・ランプ(緑)
運転の入･切に。

たし湯スイッチ・ランプ(オレンジ)
おふろのお湯を増やすときに。(☞P32)

たし水スイッチ・ランプ(赤)
おふろのお湯をぬるくするときに。(☞P33)

呼び出しスイッチ・ランプ(赤)
浴室から台所を呼び出したいときに。(☞P37)

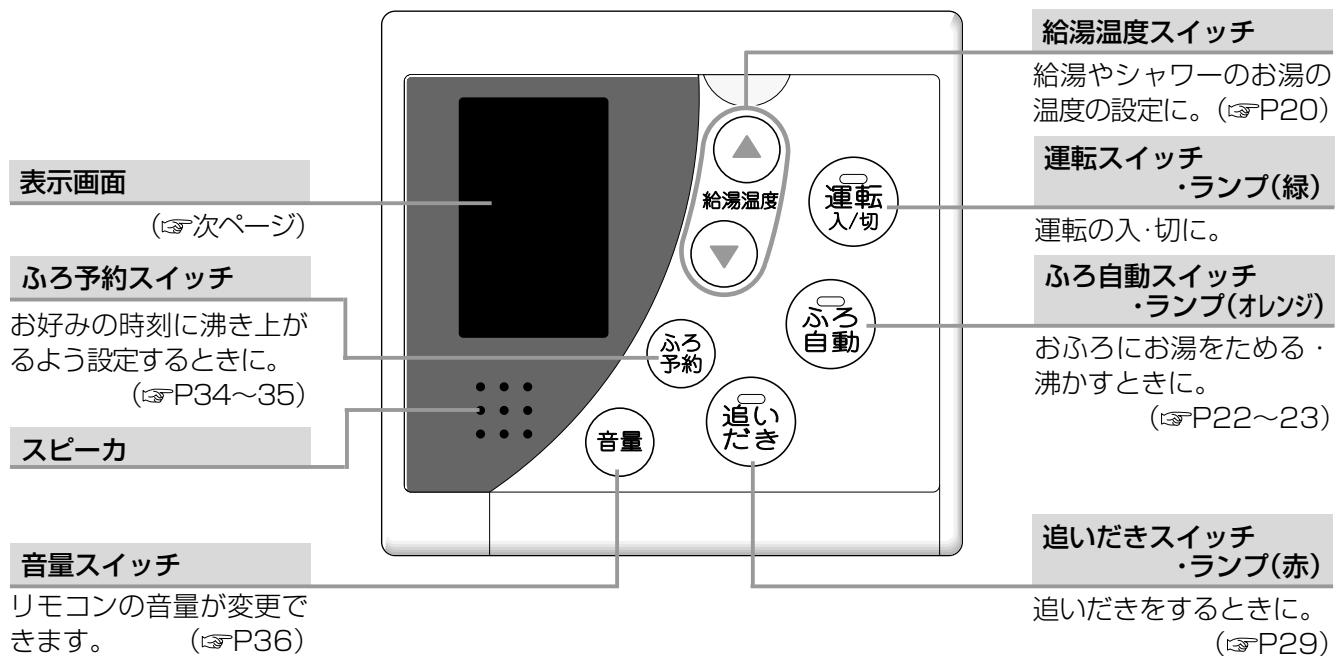
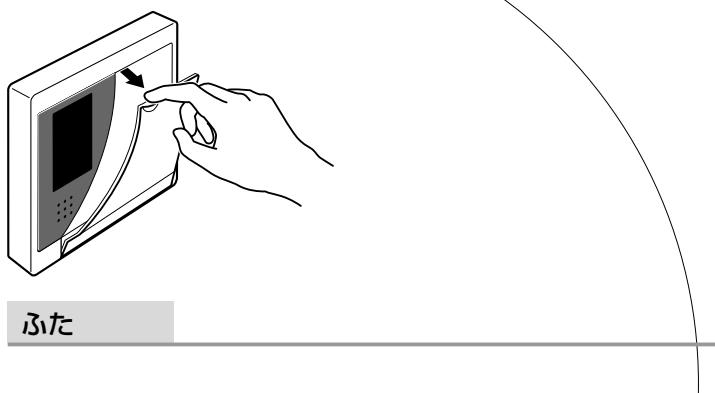
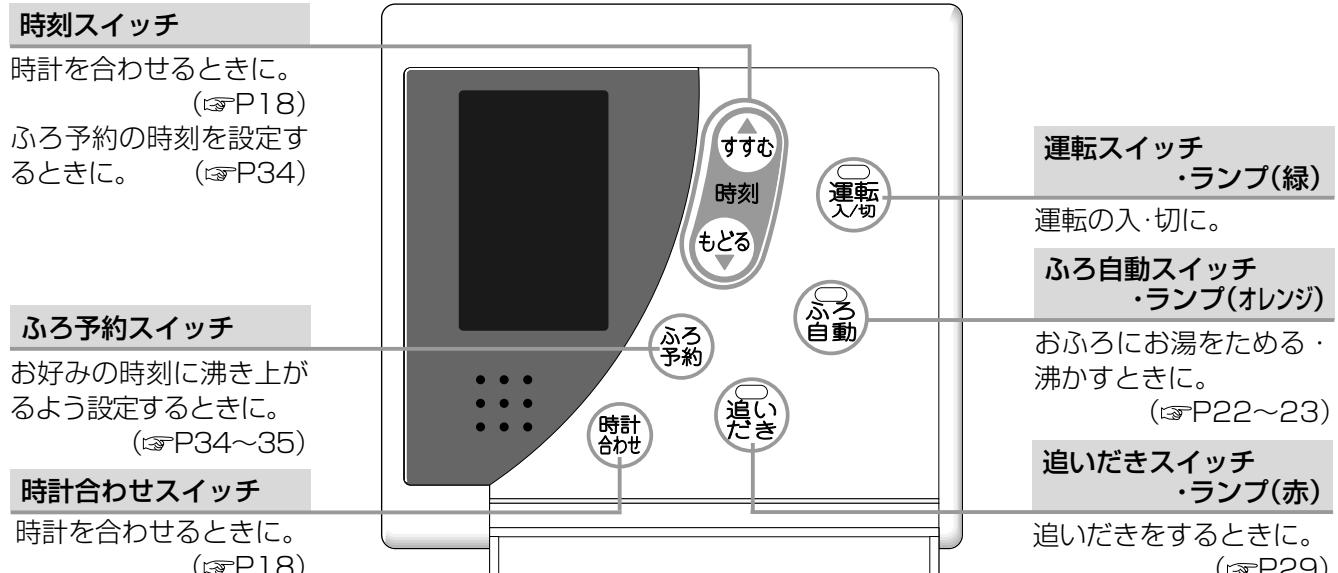
ふろ湯量スイッチ
ふろ湯量の設定に。(☞P28)

ふた

● 表示画面 ●

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

各部のなまえとはたらき(リモコン)-2

台所リモコン・本体操作部(M-034DA)

台所などに付いているリモコンです。(機器に組み付けられている場合もあります)
スイッチを押すと操作音が鳴り、操作の内容を音声でお知らせします。
音量を変更したり、音声ガイドをやめたりすることもできます。(☞P36,45～46)

【ふたを開けたときのスイッチ】

時刻スイッチ
時計を合わせるときに。(☞P18)
ふろ予約の時刻を設定するときに。 (☞P34)

運転スイッチ・ランプ(緑)
運転の入･切に。

ふろ自動スイッチ・ランプ(オレンジ)
おふろにお湯をためる・沸かすときに。(☞P22～23)

ふろ予約スイッチ
お好みの時刻に沸き上がるよう設定するときに。(☞P34～35)

追いだきスイッチ・ランプ(赤)
追いだきをするときに。(☞P29)

時計合わせスイッチ
時計を合わせるときに。(☞P18)

すすむ
時刻
もどる
運転
入/切
ふろ
自動
ふろ
予約
追い
だき
時計
合わせ

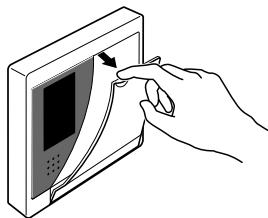
ふた

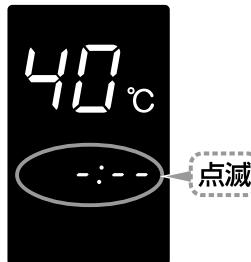
● 表示画面 ●

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

時計を合わせる

【台所リモコン】

台所リモコンで設定します。

ふたを開ける

操作	操作後の画面	お知らせ
1 ふたを開けて を押す		＊運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。
2 で時計を合わせる	（例：午前10時15分）	＊一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。
3 を押す ＜設定完了＞		＊元の画面に戻ります。 ＊ふたを閉めたり、20秒そのままにしても設定完了します。

＊停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「－:－－」に変わっていますので、時計を合わせなおしてください。

＊通常、運転スイッチを「切」にすると時計表示も消えますが、運転スイッチを「切」にしても時計を表示するよう、設定を変更できます。（☞P45～46）

お湯を出す

【台所リモコン】

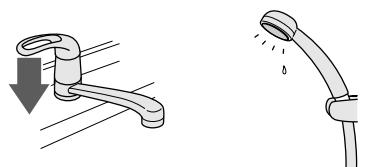
【浴室リモコン】

★ここでは台所リモコンで説明します★

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転 入/切 を「入」にする	（例：40℃）	＊運転 入/切ランプ点灯。 ＊前回設定した給湯温度を表示します。
2 給湯栓を開ける または シャワーを出す		＊給湯量と給湯温度の早見表 ※(　)内は湯、水を混合した値です。

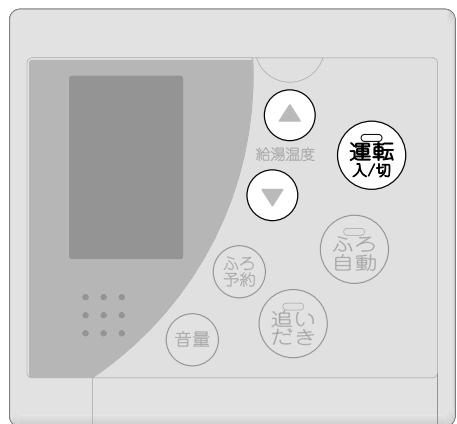
給湯温度＼水温	給湯量 L／min 8℃(冬期)	18℃(春・秋期)	28℃(夏期)
40℃	約21.0	※(約30.5)	※(約55.5)
48℃	約17.0	約22.5	※(約34.0)
60℃	約13.0	約16.0	約21.0

● お湯を止めたいとき

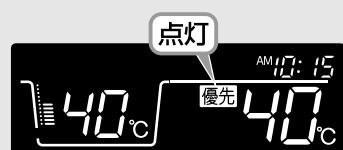
給湯栓を閉める
または シャワーを止める

⚠注意		シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する
60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。 やけど予防のため。		

⚠注意		シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない
高温に変更されたときのやけど防止のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。		

お湯の温度を調節する

【台所リモコン】

【浴室リモコン】

★ここでは台所リモコンで説明します★

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転 入/切 を「入」にし、 **優先が点灯していることを確認する** **（点灯していないときは☞P21）**	 （例：40℃）	＊運転 入/切 ランプ点灯。 ＊前回設定した給湯温度を表示します。 【浴室リモコンの表示】
2 給湯温度 **で調節する**	 （例：42℃）	＊ 優先（または 優先 ）が点灯していない場合に 給湯温度 を押すと、「ピピピ」と鳴って温度調節ができないことをお知らせします。

● お湯の温度の目安 ●

（℃）

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	55	60
低温		食器洗いなど		シャワー、給湯など					給湯など							高温

お好みで温度調節の上限（最高温度）を設定できます☞P47

60℃設定時の表示

約10秒間 点滅 → 点灯

＊目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。
＊低温（食器洗いなど）に設定した場合、水温が高いとその温度にならないことがあります。
＊表示の温度をよく確かめてから使用してください。高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。

⚠注意		**シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない**

高温に変更されたときのやけど防止のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。

お湯の温度を調節できないときは(優先)

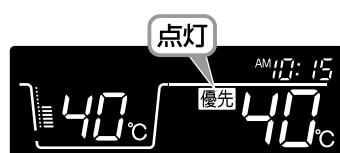
【浴室リモコン】

【台所リモコン】

操作	操作後の画面	お知らせ

● 浴室リモコンで温度調節ができないとき

優先 を押して

優先を点灯させる

● 台所リモコンで温度調節ができないとき

いったん 運転入/切 を

「切」にし、再度「入」にして

優先を点灯させる

＊運転が停止するため、ご注意ください。

「優先」とは

台所、洗面所、シャワーなど、給湯機からお湯を供給しているところには、同じ温度のお湯が出ます。
そのため、お湯を使っているときに他の人が給湯温度を変えてしまうと、出ているお湯の温度が変わり、使っている人がやけどをしたり、急に冷たくなってびっくりする原因になります。
このような事故などを防ぐために、リモコンが複数ある場合は一つのリモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。
給湯温度を調節できることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには優先または優先を表示します。

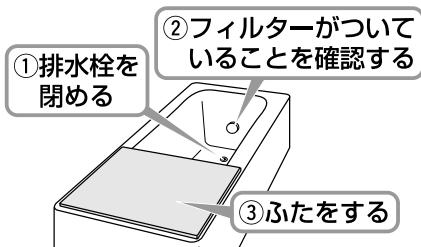
■ 運転入/切 を「入」にしたリモコンが優先になります。

■浴室リモコンの 優先 で、リモコンの優先を切り替えることができます。

おふろにお湯をためる・沸かす（ふろ自動）

【浴室リモコン】

★ここでは浴室リモコンで説明します★

【台所リモコン】

操作	操作後の画面	お知らせ
準備 ①排水栓を閉める ②フィルターがついていることを確認する ③ふたをする		
1 運転入/切 を「入」にする	ふろ湯量確認 ふろ温度確認	＊運転入/切ランプ点灯。
2 ふろ自動 を「入」にする 【ふろ自動開始】	お湯はり中変化します 燃焼中点灯	＊ふろ自動ランプ点灯→約10秒後点滅。 ＊台所リモコンで操作した場合、ふろ温度が10秒間点滅します。
【沸き上がり】 沸き上がり後は、自動保温をします		＊ふろ自動ランプ点灯。 ＊メロディでお知らせします。 ＊保温燃焼中は🔥が点灯します。

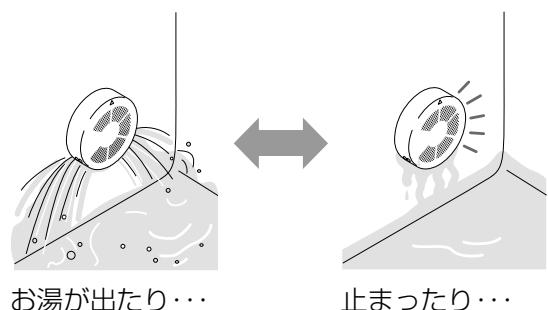
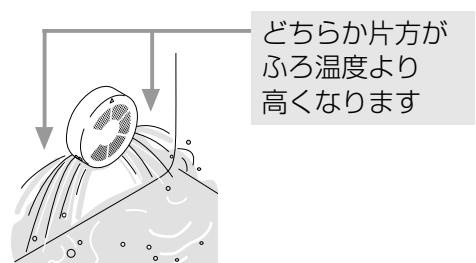
● ふろ自動をやめたいとき
● 沸き上がり後、自動保温の必要がないとき

を「切」にする

＊ふろ自動ランプ消灯。

⚠注意		入浴時は、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する
やけど予防のため。		

故障ではありません

＊ふろ自動を始めると、しばらくは浴槽の循環口からお湯が出たり止まったりします。
残り湯の量を確認しているためで、故障ではありません。

＊循環口から出るお湯の温度は、お湯の吹き出し口のどちらか片方がふろ温度より高くなりますが、故障ではありません。

＊沸き上がらないうちに、何度も の「切」「入」をくりかえすと、お湯があふれることがあります。

＊水温が高いときや、ふろ温度を低く設定しているときは、お湯はりの初めに水が出る場合があります。

＊ふろ自動中に台所やシャワーでお湯を使うと、ふろ自動を中断します。
お湯を使い終わると再開します。

ふろ自動に関する設定を変更したいとき

沸き上がり後の自動保温時間を変更する

浴室リモコン・台所リモコンのどちらかで変更してください

□＝初期設定（工場出荷時）

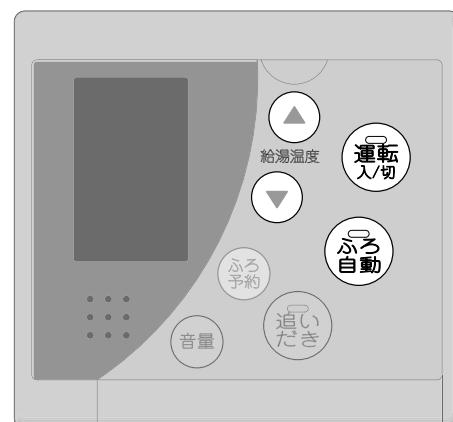
項目No.		設定	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	沸き上がり後の自動保温時間		↑保温なし									（単位：時間）

【浴室リモコン】

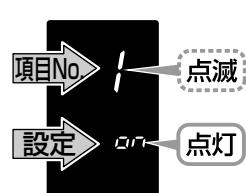
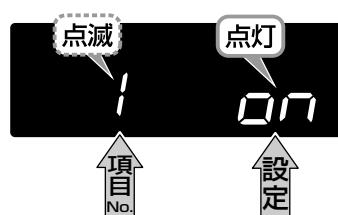
【台所リモコン】

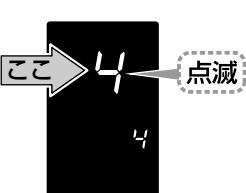
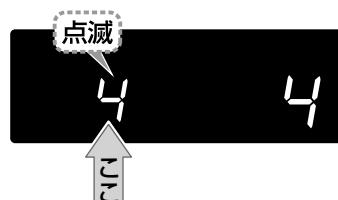
操作	【浴室リモコンの表示】	【台所リモコンの表示】

を「切」にする

2

を 2秒間押す

（設定変更画面になります）

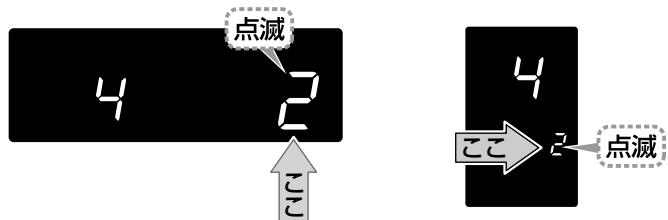
＊台所リモコンの場合、ふたの中の（ふろ自動）を押しても設定変更画面にはなりません。

3

を押して、「4」にする

4

を押す

（点滅の位置が変わります）

（つづく）

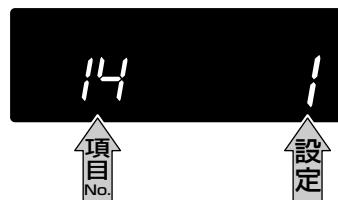
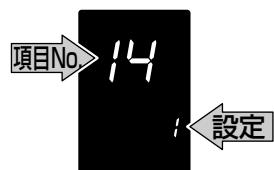
（つづき）

6 そのまま機器を使用する場合は 運転 入/切 を「入」にする

機器を使用しない場合は、30秒放置する

沸き上がりのお知らせを変更する

P24〜25の**1**〜**6**の手順で、浴室リモコン・台所リモコンのどちらかで変更してください

▭＝初期設定（工場出荷時）

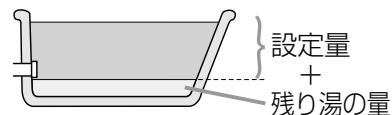
項目No.			設定		
	14	沸き上がりのお知らせ 浴室リモコン・台所リモコンの両方でお知らせします		0	沸き上がりのお知らせをしません
				1	沸き上がりのお知らせを1回します（初期設定）
				2	沸き上がりのお知らせをくりかえします 1 回目はメロディ＋音声でお知らせし、その後1 分おきに「ピピピ」＋音声を5 回くりかえします。

残り湯を沸かし直す

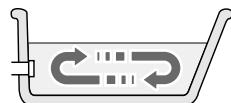
（ふろ自動）を押すだけで沸かし直しできます。（☞P22～23）

沸き上がりの湯量が以下の条件で異なります。

循環口より下に 残り湯があるとき

設定した
湯量分
お湯はり

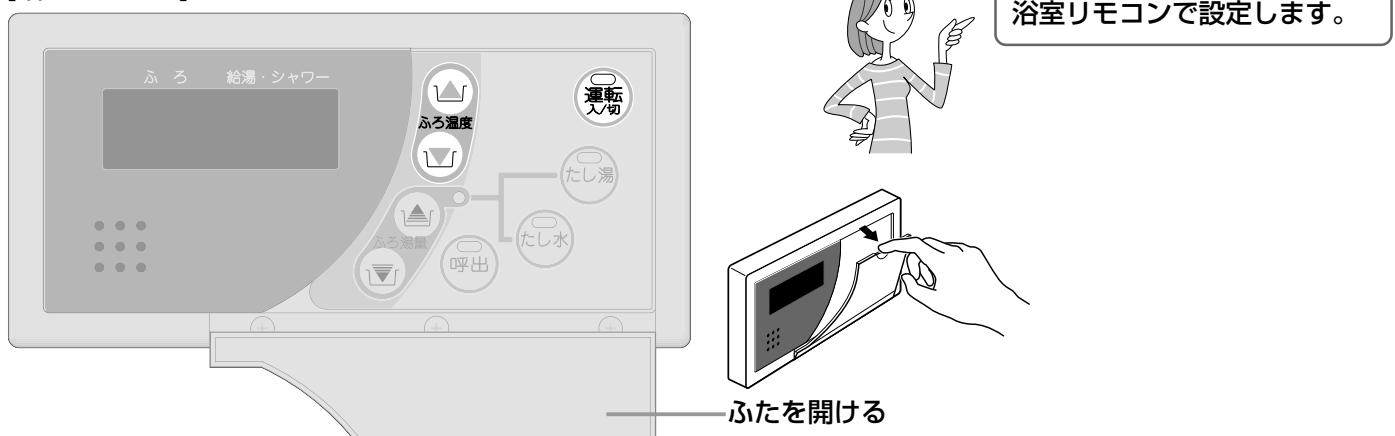
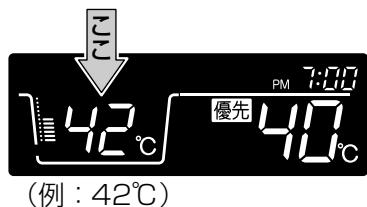
沸き上がり湯量は、残り湯の量だけ増えます。

循環口より上に 残り湯があるとき

条件	内容
（ふろ自動）を押してから 約4時間以内に 沸かし直した場合	湯量はそのままで、追いだきします。
（ふろ自動）を押してから 約4時間以上たって 沸かし直した場合	沸き上がり湯量は、設定量より少なかったり、あふれそうになることがあります。

残り湯を（ふろ自動）で沸かし直すと、条件によってはお湯の量が増えてしまう（あふれてしまう）ので、

お湯の量を増やさず沸かし直しをしたい場合は、（追いだき）で沸かし直してください。（☞P29）

＊残り湯を沸かし直す場合は、ふろ自動で初めからお湯はりするよりも、沸き上がりに時間がかかります。（残り湯の湯温によって異なります）
沸き上がりに時間はかかりますが、灯油の消費量がそれほど多くなるわけではありません。

ふろ温度を調節する

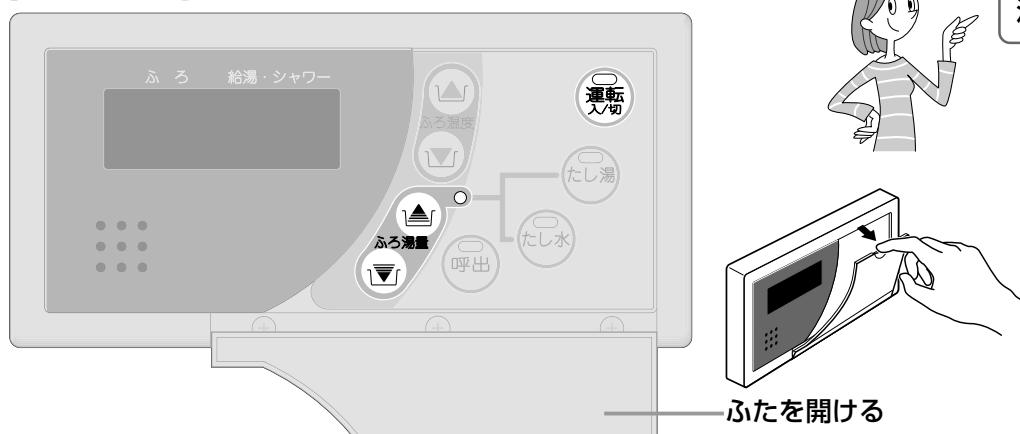
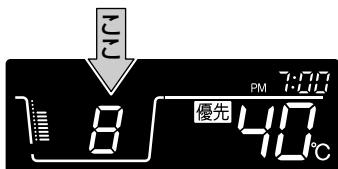
【浴室リモコン】

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	運転 入/切 を「入」にする	PM 7:00 40℃ 優先 40℃	＊運転 入/切 ランプ点灯。
2	ふたを開け、ふろ温度 を押して お好みの温度に調節する	ここ PM 7:00 42℃ 優先 40℃ （例：42℃）	＊変更した温度は記憶します。

● ふろ温度の目安 ●

（℃）

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ							ふつう				あつめ				

＊目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。

ふろ湯量を調節する

操作	操作後の画面	お知らせ
1 を「入」にする		＊(運転 入/切)ランプ点灯。
ふたを開け、 を押して お好みの湯量に調節する	(例：ふろ湯量8)	＊変更した湯量は記憶します。 ＊操作後 約5秒たつと、元の画面に戻ります。 ふたを閉めても元の画面に戻ります。

● ふろ湯量の目安 ●

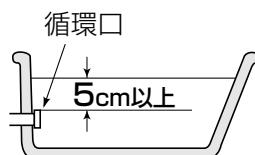
ふろ湯量表示	湯量(目安)	浴槽の大きさ(目安)
11	330 L	
10	300 L	1600タイプ
9	270 L	
8	245 L	1400タイプ
7	220 L	
6	200 L	1200タイプ
5	180 L	1100タイプ
4	165 L	900タイプ
3	150 L	800タイプ
2	140 L	} 洋バス
1	130 L	

追いだきをする

【浴室リモコン】

★ここでは浴室リモコンで説明します★

【台所リモコン】

操作	操作後の画面	お知らせ
準備 浴槽の循環口上部より5cm以上お湯（または水）が入っているか確認する	循環口 5cm以上	
1 を「入」にする		＊運転 入/切ランプ点灯。
2 を「入」にする 【追いだき開始】	 追いだき中動きます 燃焼中点灯	＊追いだきランプ点灯。 ＊台所リモコンで操作した場合、ふろ温度が10秒間点滅します。 ＊【浴室リモコンで追いだきした場合】浴槽のお湯の温度＋約1℃まで追いだきします。ただし、浴槽のお湯の温度が設定したふろ温度より低い場合は、設定温度まで追いだきします。【台所リモコンで追いだきした場合】設定したふろ温度まで追いだきします。
【追いだき完了】		＊追いだきランプ消灯。 ＊【台所リモコンで追いだきした場合】メロディでお知らせします。

● 追いだきを途中でやめたいとき

操作	操作後の画面	お知らせ
を「切」にする		＊追いだきランプ消灯。

＊ふろ自動中は、追いだき操作をすることができません。
＊【浴室リモコンのみ】上記の手順 2（追いだき開始→追いだき完了）を何度もくりかえすと、最高50℃まで追いだきします。

追いだきに関する設定を変更したいとき

浴室リモコンで追いだき操作した場合の沸き上がり温度を変更する

浴室リモコンで変更してください

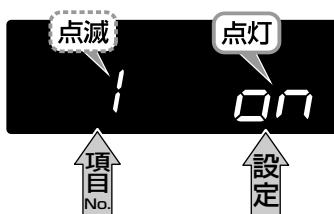
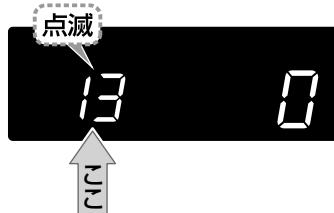
□＝初期設定（工場出荷時）

項目No.	13	浴室リモコンで追いだき操作した場合の沸き上がり温度	設定	0	浴槽のお湯の温度＋約1℃まで沸かします（初期設定）	【どの設定の場合も】浴槽のお湯の温度が、設定したふろ温度より低いとき ▼ 設定温度まで沸かします
				1	設定「0」より、もう少し高い温度まで沸かします	
				2	設定「1」より、もう少し高い温度まで沸かします	

【浴室リモコン】

操作	【浴室リモコンの表示】
1 運転 入/切 を「切」にする	
2 ふろ自動 を 2秒間押す（設定変更画面になります）	点滅 1　点灯 on（項目No.／設定）
3 ▲▼ 給湯温度 を押して、「13」にする	点滅 13　0（ここ）
4 ふろ自動 を押す（点滅の位置が変わります）	13　点滅 0

（つづく）

（つづき）

操作	【浴室リモコンの表示】

を押して設定を変更する

例：「設定「1」より、もう少し高い温度まで沸かす」に変更

6 そのまま機器を使用する場合は を「入」にする

機器を使用しない場合は、30秒放置する

台所リモコンで追いだき操作した場合の 追いだき完了のお知らせを変更する

P25「沸き上がりのお知らせを変更する」で、お知らせを「1回する」または「くりかえす」に設定していれば、台所リモコンで追いだき操作した場合の追いだき完了も、同じようにお知らせします。

「浴室リモコンで追いだき操作した場合の 追いだき完了のお知らせ する/しない」を変更する

P30～31の1～6の手順で、浴室リモコンで変更してください

□＝初期設定（工場出荷時）

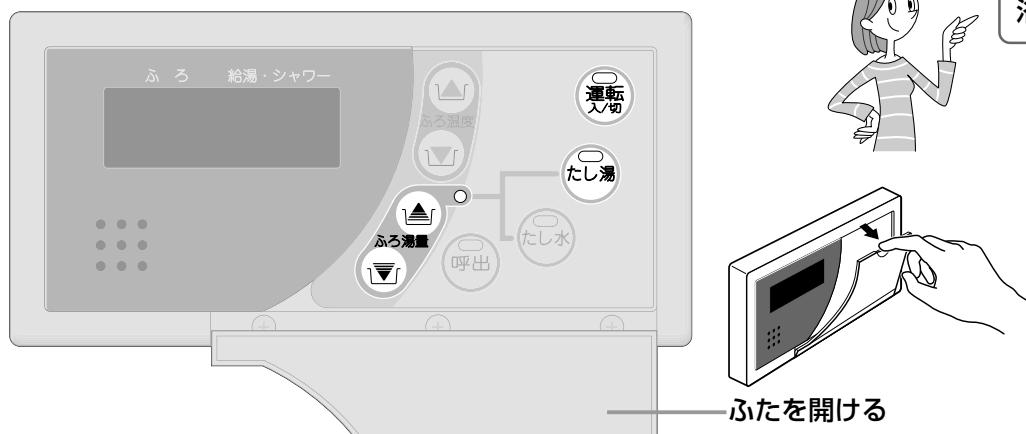
項目No.	15	浴室リモコンで追いだき操作した場合の追いだき完了のお知らせ	設定	on（する）	浴室リモコンで追いだき操作をした場合、追いだき完了のお知らせをします
				oF（しない）	浴室リモコンで追いだき操作をした場合、追いだき完了のお知らせをしません

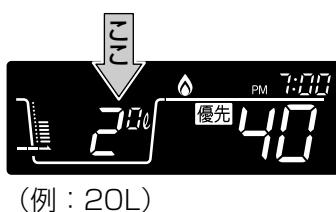
【浴室リモコン】

15 oF

項目No.　設定

おふろに たし湯をする

【浴室リモコン】

操作	操作後の画面	お知らせ
を「入」にする		＊運転 入/切 ランプ点灯。
ふたを開け、 を「入」にする		＊たし湯 ランプ点灯。 ＊設定したふろ温度のお湯を約20Lたし湯し、自動的に止まります。

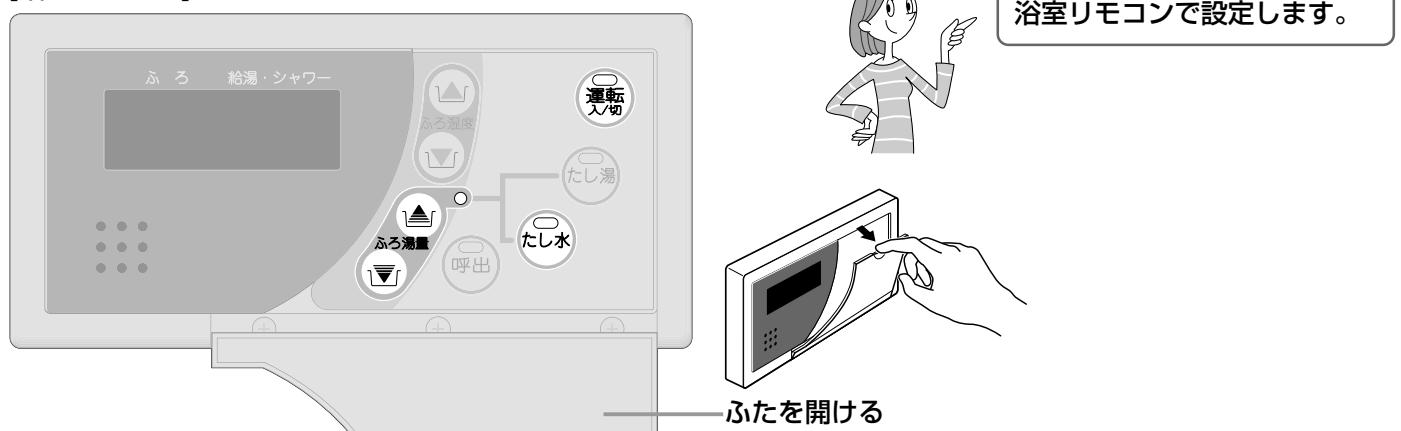
● たし湯の量を変更したいとき

操作	操作後の画面	お知らせ
たし湯中に、 を押して お好みの湯量に調節する	（例：20L）	＊10,20,40,60,80,100Lの設定ができます。 ＊変更した量は記憶しません。 ＊操作後 約5秒たつと、元の画面に戻ります。 ふたを閉めても元の画面に戻ります。

● たし湯を途中でやめたいとき

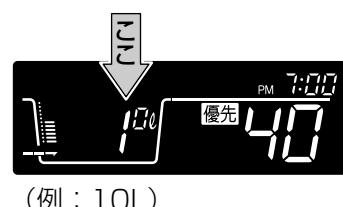
操作	操作後の画面	お知らせ
を「切」にする		＊たし湯 ランプ消灯。

＊たし湯中に台所やシャワーでお湯を使うと、たし湯を中断します。お湯を使い終わると再開します。
＊ふろ自動中は、たし湯をすることができません。

おふろに たし水をする

【浴室リモコン】

操作	操作後の画面	お知らせ
1 を「入」にする		＊運転入/切ランプ点灯。
ふたを開け、 を「入」にする	たし水中 変化します	＊たし水ランプ点灯。 ＊水が10L入り、その後約3Ｌのお湯が入り（このとき が点灯します）、自動的に止まります。

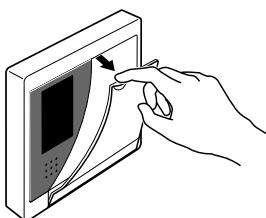
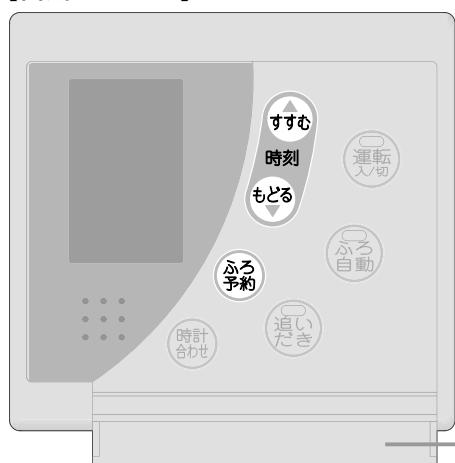
● たし水の量を変更したいとき

操作	操作後の画面	お知らせ
たし水中に、 を押して お好みの湯量に調節する	ここ （例：10L）	＊10,20,30,40,50,60Lの設定ができます。 ＊変更した量は記憶しません。 ＊操作後 約5秒たつと、元の画面に戻ります。 ふたを閉めても元の画面に戻ります。

● たし水を途中でやめたいとき

操作	操作後の画面	お知らせ
を「切」にする		＊たし水ランプ消灯。 ＊たし水を途中でやめても、約3Lのお湯が入ります。

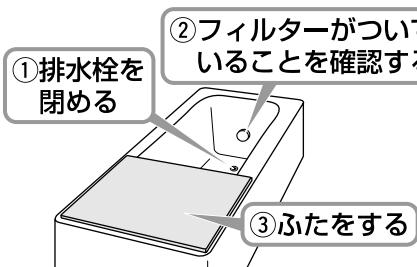
＊たし水中に台所やシャワーでお湯を使うと、たし水を中断します。お湯を使い終わると再開します。
＊ふろ自動中は、たし水をすることができません。

お好みの時刻に沸き上がるよう設定する（ふろ

【台所リモコン】

＊予約時刻（沸き上がり時刻）の約30分〜60分前におふろ沸かしを開始するため、60分前までには予約してください。
＊台所リモコンで設定します。

操作	操作後の画面	お知らせ

準備

④ふろ温度、ふろ湯量、現在時刻を確認する

1

ふたを開け、

 を押して

ふろ予約の設定画面にする

＊運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。
＊一度沸き上がり時刻を設定していると、その時刻を表示します。

2

を押して

沸き上がり時刻を設定する

（例：午後7時30分）

＊一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。

3

 を押し、

ふたを閉める
＜ふろ予約完了＞

＊10秒間ふろ温度が点滅します。
＊ふろ予約を押さなければ予約されません。

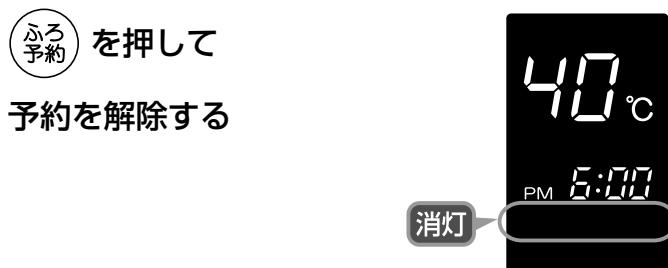
（つづく）

（つづき）

操作	操作後の画面	お知らせ
【ふろ自動開始】 予約した時刻におふろが沸き上がるように、約30～60分前に開始します	自動 点灯 40℃	＊（ふろ自動）ランプ点滅。
【沸き上がり】 沸き上がり後は、自動保温をします （自動保温が不要のときは（ふろ自動）を「切」にする）		＊（ふろ自動）ランプ点灯。 ＊「ふろ」「予約」表示消灯。 ＊メロディでお知らせします。 ＊保温燃焼中は🔥が点灯します。

● ふろ自動が始まる前に 予約をやめたいとき

を押して

予約を解除する

● ふろ自動が始まったあとで ふろ自動をやめたいとき

を「切」にする

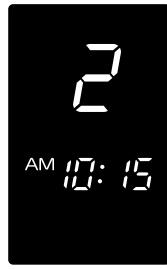
＊前日などの残り湯（水）があるときや、ふろ自動が始まったあとでお湯を使ったときは、沸き上がり時刻が遅れる場合があります。

リモコンの音量を変更する

【台所リモコン】

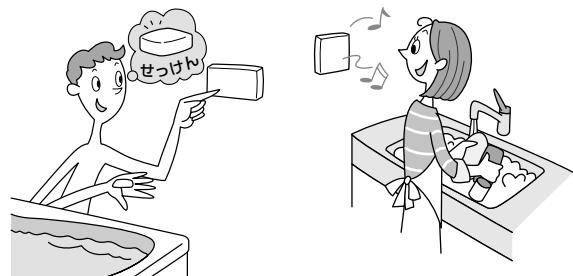
【浴室リモコン】

★ここでは台所リモコンで説明します★

操作	操作後の画面	お知らせ
1 音量 を押す	(例：2)	＊運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。 ＊前回設定した音量を表示します。
2 を押して お好みの音量にする <設定完了>	 (例：1)	＊一度押すと「0(消音)」になり、「1」→「2」→「3」→「0」･･･→と変わります。 ＊「0」の場合は、消音が点灯します。 【台所リモコン】 【浴室リモコン】 ＊操作後 約5秒たつと、元の画面に戻ります。

＊それぞれのリモコンで設定できます。
＊「0(消音)」の設定でも、呼び出し音(☞P37)は鳴ります。

浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす(呼び出し)

【浴室リモコン】

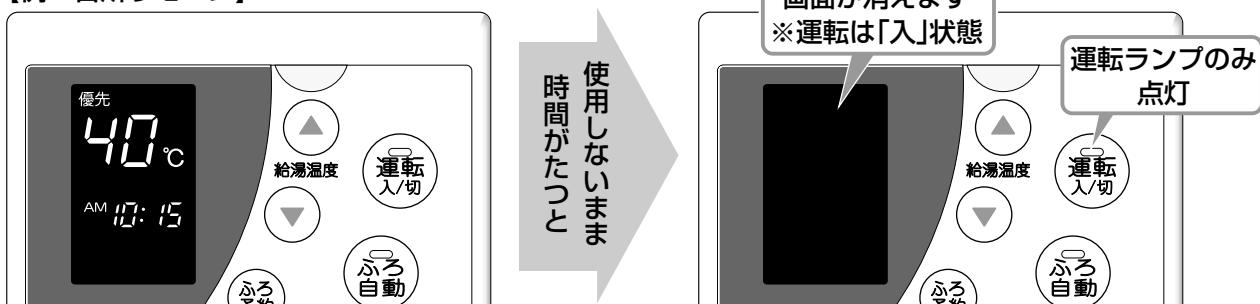
浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。
(インターホンではないので会話はできません)

操作	お知らせ
1 呼出 を押す	＊運転スイッチ「入」「切」に関係なく、使用できます。 ＊チャイムが鳴って呼び出します。 ＊押し続けると、手を離すまでチャイムをくりかえします。

＊リモコンの「0(消音)」の設定(☞P36)でも、呼び出し音は鳴ります。

リモコンの表示の節電について

リモコンの無駄な電力消費を防ぎます。(「表示の節電」の設定変更の方法☞P45〜46)

機器を使用しないまま約10分(おふろの機能を使った場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。

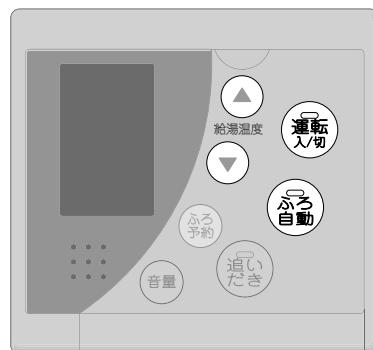
【例：台所リモコン】

＊再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
※下記のスイッチは、1回押すだけで表示の節電を解除すると同時に、機能もはたらきます。

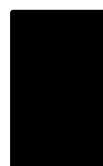
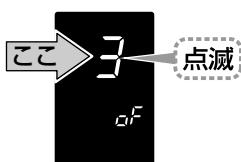
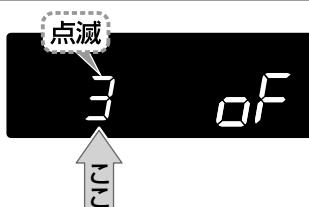
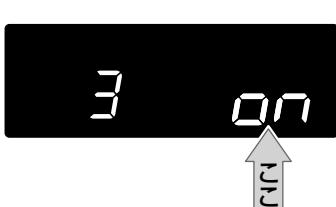
ふろ自動スイッチ　追いだきスイッチ　たし湯スイッチ　たし水スイッチ　呼出スイッチ

＊給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。
＊ふろ自動ランプ点灯中は、表示の節電はしません。

手動でふろ配管クリーンをする

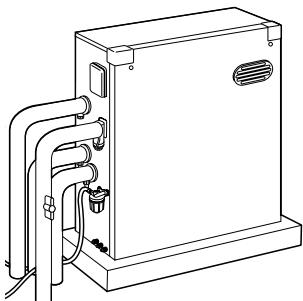
ふろ配管内の残り湯を新しいお湯で洗い流す機能が「ふろ配管クリーン」です。
以下の操作で、いつでも手動でふろ配管クリーンができます。

【浴室リモコン】

浴室リモコン・台所リモコンのどちらかで設定してください

【台所リモコン】

操作	【浴室リモコンの表示】	【台所リモコンの表示】
1 浴槽の残り湯を排水し を「切」にする		
2 を 2秒間押す（設定変更画面になります） ＊台所リモコンの場合、ふたの中の を押しても設定変更画面にはなりません。		
3 を押して、「3」にする		
4 を押す（点滅の位置が変わります）		
5 を押して「on」にする		

運転スイッチ「入」になり
すぐにふろ配管クリーンを開始
（終了後は、運転スイッチ「入」の状態のままです）

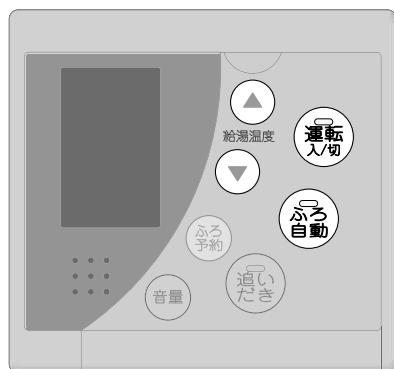
浴室リモコンのみ表示が変化します

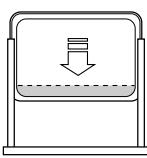
給油時期をお知らせするには-1

次の機種のみ、「給油時期のお知らせ」ができます

左図のような屋外設置形の場合のみ「給油時期のお知らせ」ができます。
※その他の機種はできませんので、ご注意ください。

または、台所リモコンでP41の手順**5**〜**7**をおこない、手順**7**で「9」が表示されれば、「給油時期のお知らせ」ができる機種です。

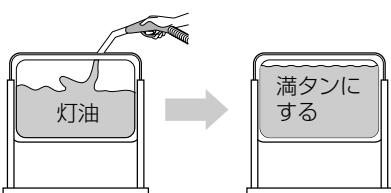
お知らせ位置の設定をする

【台所リモコン】

＊「お知らせ位置」の設定をしておくと、給油時期をお知らせします。

設定したお知らせ位置まで灯油が減ると、

リモコンに「LL」を表示して、お知らせします
※運転スイッチ「入」「切」に関わらず、「LL」表示が出ます。

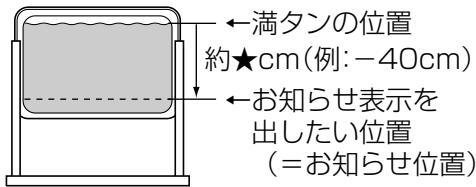
機器設置後や基準位置のリセット(☞P44)後は、お知らせ位置の設定をおこなわないと、「LL」表示が出ません。

＊台所リモコンで設定します。

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	オイルタンクを満タンにする	灯油 → 満タンにする	＊どうしてもオイルタンクを満タンにできない場合は(☞P42) ＊設定が完了するまで、灯油を抜かないでください。
2	ふろ自動(☞P22)を5分以上おこなう		＊5分以上機器を燃焼させることにより、機器がオイルタンクの満タンの位置(基準位置)を記憶します。 ※5分以上の時間が必要なため、ここではふろ自動をおこないます。
3	運転 入/切 を「切」にする		＊ 運転 入/切 を「切」にした後、1分程度待ってから手順**4**に進みます。

（つづく）

（つづき）

操作	操作後の画面	お知らせ

4
お知らせ表示を出したい位置を決め、その位置が満タンの位置から何cm下になるかを測る

＊お知らせ表示を出したい位置は、オイルタンクの底から10〜15cmくらい(1週間程、使用できる量)を目安に決めてください。

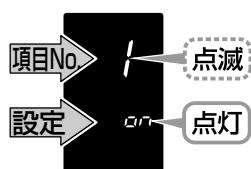
5
下記の表を参照して、手順3で測った高さ(約★cm)がどの設定値になるかを確認する

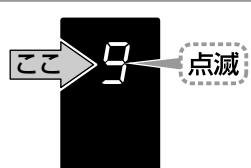
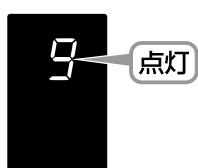
＊(参考)一般的なオイルタンクの場合
90Lタイプ：約−40cm(設定値−8)
200Lタイプ：約−50cm(設定値−10)

例：お知らせ位置が−40cmだった場合、設定値は−8になります

設定値	約★cm	設定値	約★cm	設定値	約★cm	設定値	約★cm	設定値	約★cm
5	+25	−1	−5	−7	−35	−13	−65	−19	−95
4	+20	−2	−10	−8	−40	−14	−70	−20	−100
3	+15	−3	−15	−9	−45	−15	−75	oF	※
2	+10	−4	−20	−10	−50	−16	−80	(表示なし)	(初期設定)※
1	+5	−5	−25	−11	−55	−17	−85	※お知らせ表示をしません	
0	0	−6	−30	−12	−60	−18	−90		

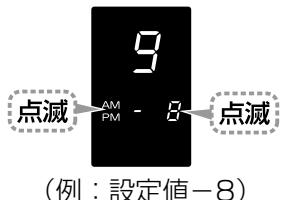
6
ふろ自動 を 2秒間押す

(設定変更画面になります)

＊運転入/切「切」で設定してください。

7
給湯温度▲▼を押して「9」にする

8
を押す

＊二度目以降の設定時は、現在の設定値が点滅します。

(例)

9
給湯温度▲▼を押して手順4で確認した設定値にする

(例：設定値−8)

＊はじめての設定時は何も表示しませんが、一度給湯温度スイッチを押すと「−8」を表示します。(その後、お好みの設定に合わせてください)
＊通常設定(満タンの位置を記憶)できていれば、AM/PMが点滅します。点滅していない場合は、もう一度手順1より操作してください。
＊一般的なオイルタンクの場合、90Lタイプは「−8」、200Lタイプは「−10」に設定してください。

10
そのまま機器を使用する場合は

を「入」にする

機器を使用しない場合は、30秒放置する

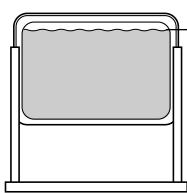
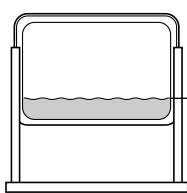
（つづく）

給油時期をお知らせするには-2

（つづき）

＊目安の数値のため、季節や配管長さなどの条件により、実際のお知らせ表示を出す位置とは異なる場合があります。
＊オイルタンクに複数の機器を接続している場合、設定した位置より早めにお知らせ表示が出る場合があります。
＊オイル配管内に空気が混ざった場合、お知らせ表示を出す位置がばらつく場合があります。
＊残油量が設定した位置に近づくと、いったんお知らせ表示が出て、その後消えたりする場合がありますが、異常ではありません。
＊他社オイルタンクをご使用時、設定値の上限・下限を超えた設定（有料）が必要な場合があります。その際は、販売店または、弊社へご相談ください。
＊給湯温度を60℃に設定しているときやお湯の使用中は、お知らせ表示は一時的に中断します。

「お知らせ位置」の設定時に、どうしてもオイルタンクを満タンにできない場合、現在の残油量を基準位置にして、お知らせ位置を設定することができます
※この場合は、一度リセット（☞P44）してから、P40の手順2以降の設定をしてください

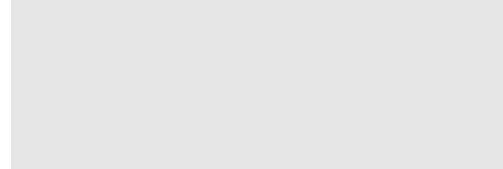
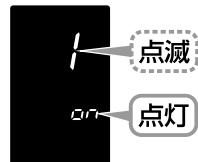
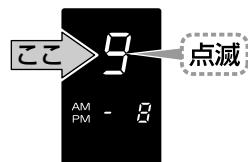
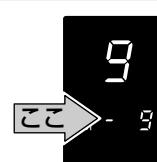
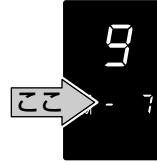
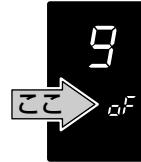
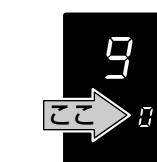
＜通常の設定＞

＜オイルタンクを満タンにできない場合＞

お知らせ位置を調整する

【台所リモコン】

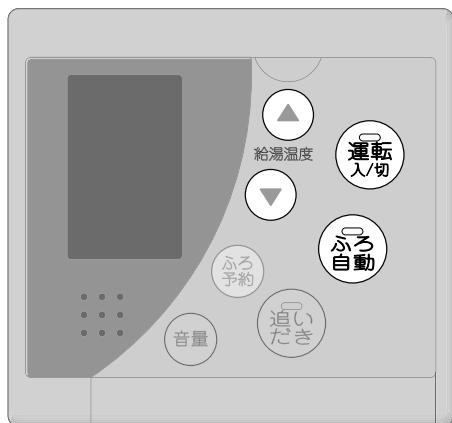
P40～41でお知らせ位置を設定したあとに、お知らせ位置を調整したい場合、この手順をおこなってください

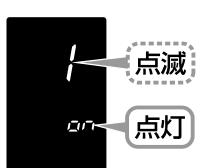
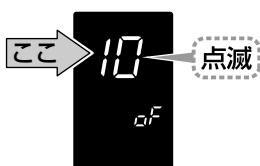
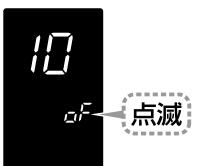
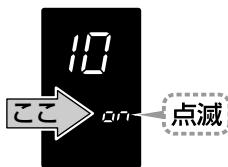
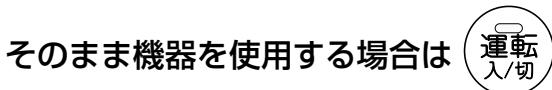
操作	操作後の画面	お知らせ
1　運転 入/切 を「切」にする		

（つづく）

（つづき）

操作	操作後の画面	お知らせ
2 ふろ自動 を 2秒間押す （設定変更画面になります）	点滅 点灯	
3 給湯温度 ▲▼ を押して「9」にする	ここ 点滅	
4 ふろ自動 を押す （点滅の位置が変わります）	点滅	
5 今のお知らせ位置よりもう少し灯油が減ってから、お知らせ表示を出したいとき ▶ 給湯温度 ▼ で 設定値を下げる（例：「−8」→「−9」へ）	ここ （例：設定値 −9）	＊1段階下げると、今のお知らせ位置より約5cm灯油が減った位置で、お知らせ表示が出ます。
今のお知らせ位置よりもう少し早めにお知らせ表示を出したいとき ▶ 給湯温度 ▲ で 設定値を上げる（例：「−8」→「−7」へ）	ここ （例：設定値 −7）	＊1段階上げると、今のお知らせ位置より約5cm灯油が多い位置で、お知らせ表示が出ます。
お知らせ表示を出したくないとき ▶ 給湯温度 ▼ で 設定値を「oF」にする	ここ	＊「oF」は「−20」のあとに表示します。
現在の残油位置でお知らせ表示を出したいとき ▶ 給湯温度 ▲▼ で 設定値を「0」にする	ここ	
6 そのまま機器を使用する場合は 運転入/切 を「入」にする 機器を使用しない場合は、30秒放置する		

給油時期をお知らせするには-3

基準位置をリセットする

【台所リモコン】

【こんなときにリセットしてください】
＊オイルタンク・機器を移設したとき
＊オイルタンクを交換したとき
＊オイルタンクを満タンにできない状態で、お知らせ位置を設定するとき（☞P42）

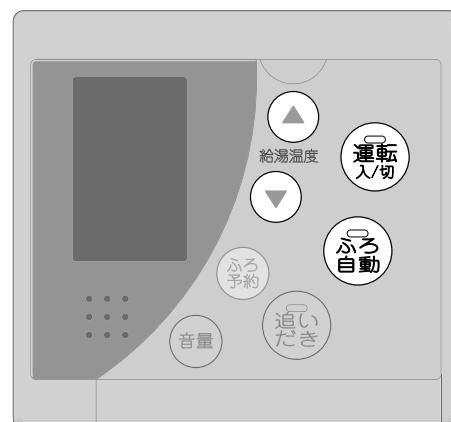
リセット後は、P40～41の手順でお知らせ位置を設定してください。

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	運転 入/切 を「切」にする		
2	ふろ 自動 を 2秒間押す （設定変更画面になります） ＊ふたの中の ふろ 自動 を押しても設定変更画面にはなりません。	1 ← 点滅 on ← 点灯	
3	▲ 給湯温度 ▼ を押して「10」にする	ここ → 10 ← 点滅 oF	
4	ふろ 自動 を押す （点滅の位置が変わります）	10 oF ← 点滅	
5	▲ 給湯温度 ▼ を「ON」に変わるまで押す（約5秒間）	10 ここ → on ← 点滅	
6	そのまま機器を使用する場合は 運転 入/切 を「入」にする 機器を使用しない場合は、30秒放置する		＊P40～41の手順でお知らせ位置を設定してください。

いろいろな設定を変更する-1

リモコンの表示の節電の設定を変更する

浴室リモコン・台所リモコンそれぞれで変更してください

□=初期設定(工場出荷時)

項目No.			設定	
2	リモコンの表示の節電／常時時計表示		1	表示の節電をします
			2	表示の節電をしません
			3	表示の節電をしません 運転スイッチ「切」時にも、時計を表示します

【浴室リモコン】

【台所リモコン】

操作	【浴室リモコンの表示】	【台所リモコンの表示】

1 を「切」にする

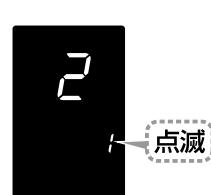
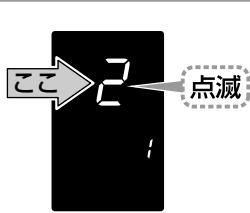
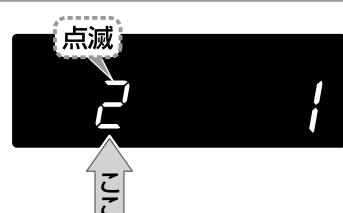
2 を 2秒間押す

(設定変更画面になります)

＊台所リモコンの場合、ふたの中の ふろ自動 を押しても設定変更画面にはなりません。

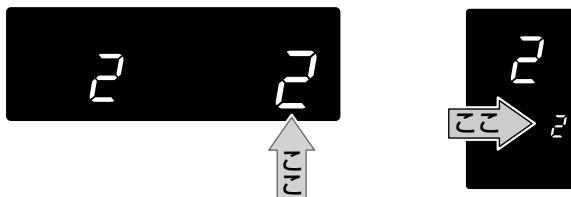
3 を押して、「2」にする

4 を押す

(点滅の位置が変わります)

(つづく)

いろいろな設定を変更する-2

（つづき）

操作	【浴室リモコンの表示】　【台所リモコンの表示】

6 そのまま機器を使用する場合は 運転 入/切 を「入」にする

機器を使用しない場合は、30秒放置する

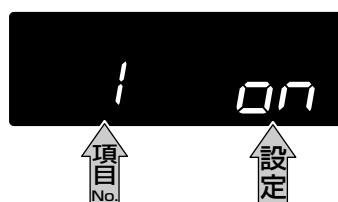
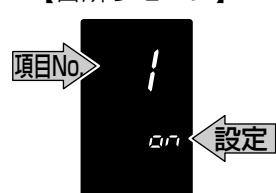
「声でお知らせ(音声ガイド)を する/しない」を変更する

P45～46の**1**～**6**の手順で、浴室リモコン・台所リモコンそれぞれで変更してください

□＝初期設定(工場出荷時)

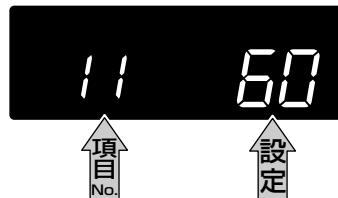
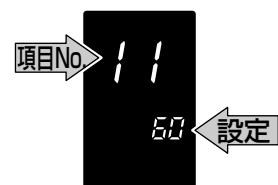
項目No.			設定		
項目No.	1	リモコンの音声ガイド	設定	on（する）	声でお知らせします
				oF（しない）	声でお知らせしません 操作音と声の両方とも鳴らさないようにするには、音量を「0」に設定してください。（☞P36）

【浴室リモコン】　【台所リモコン】

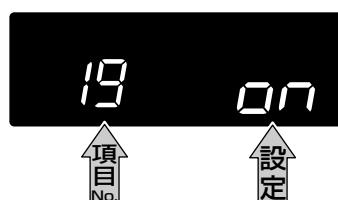
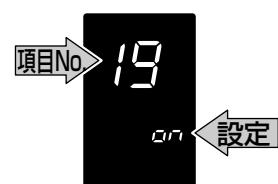
項目No.　設定

給湯温度の上限(最高温度)を変更する

P45～46の**1**～**6**の手順で、浴室リモコン・台所リモコンのどちらかで変更してください

□＝初期設定(工場出荷時)

項目No.	11	給湯温度の上限(最高温度)	設定	32	35	37～48(1℃きざみ)	50	55	60
									(単位:℃)

一部の設定をリセットする

P45～46の**1**～**6**の手順で、浴室リモコン・台所リモコンのどちらかで設定してください

項目No.	19	設定のリセット	設定	on	▲を5秒間(ピッと鳴るまで)押すと、表示が「on」になり、一部の設定内容(☞P61)が初期設定(工場出荷時)に戻ります

凍結による破損を予防する-1

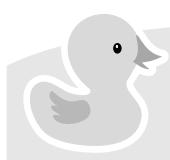
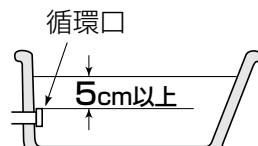
お願い	凍結による破損を予防する

＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

機器内は凍結予防ヒーター（循環ポンプ）で自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない

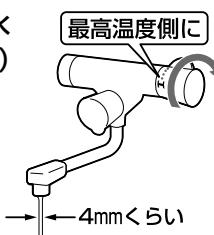
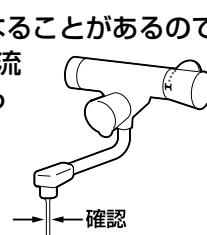
＊運転スイッチ「入」「切」に関係なく凍結予防します。
＊給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。（わからないときは、販売店に確認してください）

■ふろ配管を凍結予防するためには、浴槽の水を循環口より5cm以上ある状態にする

＊ポンプが自動的に浴槽の水を循環させて、凍結を予防します。
このときリモコンに凍結予防運転中マーク❄を表示します。（ポンプの運転音（ウーン）がします）
＊水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

■冷え込みが厳しいとき※は、さらに以下の処置をする

※外気温が極端に低くなる日（－15℃以下）や、それ以上の気温でも風のある日

1 リモコンの を「切」にする

2 送油バルブを閉める

3 おふろの給湯栓を開いて、少量の水（1分間に約400cc･･･太さ約4mm）を流したままにしておく
※サーモスタット付混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定する。

4 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する

＊機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
＊結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(☞P8)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。
＊サーモスタット付混合水栓やシングルレバー式混合水栓をお使いの場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P50～51の手順で水抜きをおこなってください。

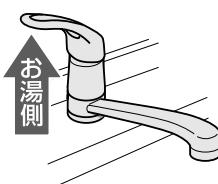
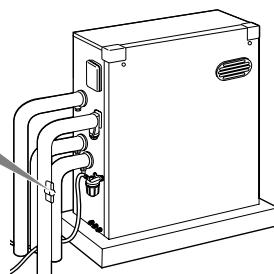
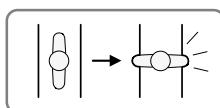
凍結してお湯(水)が出ないとき

■運転スイッチを「切」にする

＊「入」にしていると燃焼する場合があります。
＊気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

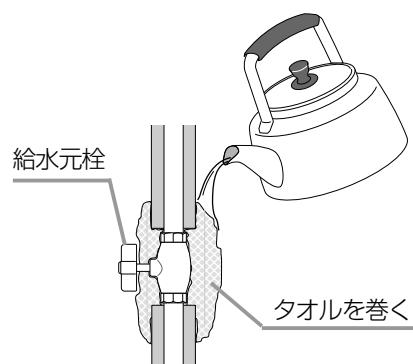
1 リモコンの を「切」にする

2 台所などの給湯栓を少し開けておく

3 給水元栓を回してみる(閉めてみる)

■ 給水元栓が凍結して回らない場合

1)タオルを給水元栓のまわりに巻く。
2)**人肌程度(30〜40℃)のぬるま湯**を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。

注意
＊熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
＊機器の電源コード・プラグ、コンセントにお湯がかからないように注意してください。

給水元栓
タオルを巻く

3)給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
4)タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布で拭き取る。
5)今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。
(わからないときは、販売店に確認してください)

■ 給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、弊社にご連絡ください。

＊凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
＊給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

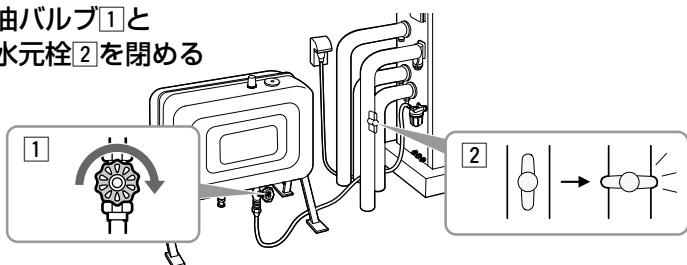
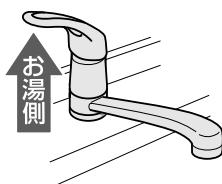
凍結による破損を予防する-2

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

⚠注意 **機器の水抜きをする場合は、運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう**

やけど予防のため。
お湯の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

※屋外設置形で説明している部分もありますが、基本的な操作は屋内設置形も同じです。

操作	お知らせ
1 リモコンの（運転 入/切）を「切」にする	
2 浴槽内の水を完全に排水する	
3 送油バルブ1と給水元栓2を閉める	
4 すべての給湯栓を全開にする	
5 1. 過圧防止安全装置（水抜き栓付）3・水抜き栓4・ふろ水抜き栓5 6 7・ポンプ水抜き栓8を左に回してゆるめる 2. 水抜き栓9を左に回して外す 3. （屋内設置形のみ）排水栓10を開ける	＊水抜き栓はこんな形をしています。 ※保温材などで見えにくくなっていることがあります。

【屋外設置形の場合】

3
9
5
6
4(真ん中)
7(手前)
8(一番奥)

【屋内設置形の場合】

3
9
4
5
6
10
7
8

過圧防止安全装置（水抜き栓付）3

【屋外設置形】　【屋内設置形】

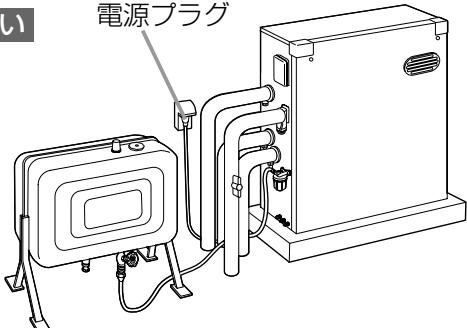
水抜き栓4
ふろ水抜き栓5 6 7
ポンプ水抜き栓8

水抜き栓9

＊水抜き栓から勢いよく水が飛び散る可能性があります。

（つづく）

（つづき）

操作	お知らせ
6 1. リモコンの 運転入/切 を「入」にする 2. ふろ自動 を「入」にし、約5分間そのままにする 3. 運転入/切 をいったん「切」にし、再度「入」にする 4. 再度 ふろ自動 を「入」にし、約5分間そのままにする	＊ ふろ自動 を「入」にすると約30秒後に故障表示「562」などが出ますが、約5分間そのまま放置してください。（異常ではありません）
7 1. 追いだき を「入」にする 2. 浴槽の循環口から排水することを確認し、5分程度そのままにする 3. 追いだき を「切」にする 4. 運転入/切 を「切」にする	＊ 追いだき を「入」にすると約1分後に故障表示「562」などが出ますが、約5分間そのまま放置してください。（異常ではありません）
8 電源プラグを抜く ぬれた手でさわらない	

● 再使用のとき ●

P11「運転開始前の準備と確認」の手順にしたがって、使用してください。

日常の点検・お手入れのしかた-1

注意 **機器の点検・お手入れをする場合は、運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう**

やけど予防のため。
お湯の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

点検(定期的に)

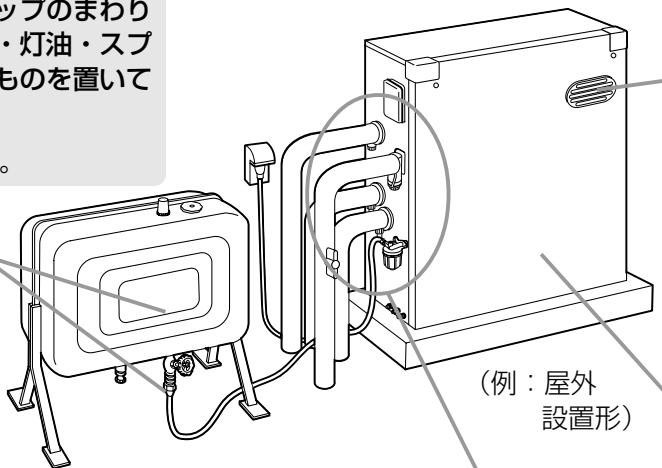
チェック **機器や排気口・排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？**

➡ 燃えやすいものを置かない。

チェック **オイルタンクや送油管の接合部などから、油漏れがないか？**

➡【油漏れのある場合】
1. 送油バルブを閉める
2. 運転スイッチ「切」にし、機器を使用しない
3. 販売店または、弊社へ連絡する

チェック **機器・配管から水漏れはないか？**

➡【水漏れがあった場合】
1. 給水元栓を閉める
2. 運転スイッチ「切」にし、機器を使用しない
3. 販売店または、弊社へ連絡する

チェック **排気口・給気口・排気筒トップがほこりなどでふさがっていないか？**

➡ ふさがっている場合は、掃除する。

チェック **＊機器の外観に異常な変色や傷はないか？**
＊運転中に機器から異常音が聞こえないか？

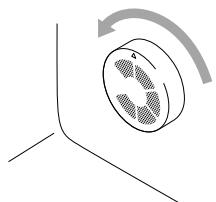
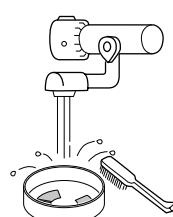
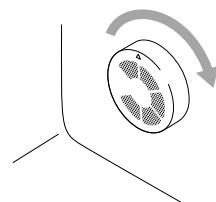
➡ 現象があった場合は、販売店または、弊社へ連絡する。

お手入れ(こまめに掃除)

● 浴槽の循環口のフィルター ●

フィルターが詰まると、おふろの温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

※運転スイッチ「切」にしてからおこなってください。
※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

1 循環口のフィルターを左に回して外す

2 歯ブラシなどで水洗いする

3 右に止まるまで回して固定する

お手入れ(定期的に)

● 機器本体 ●

機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

● リモコン ●

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

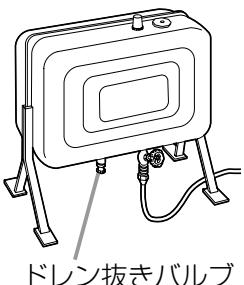
お願い	リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使用しない	お願い	リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない、故意に水をかけない
変形する場合があります。		炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。 防水型のリモコンでも、多量の水は故障の原因になります。	

● おふろの配管 ●

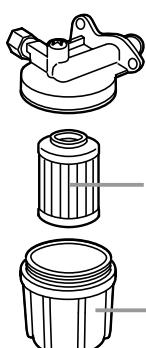
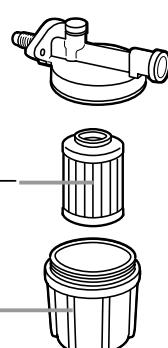
＊ポンプで浴槽の水を循環させるため、湯あかはたまりにくくなっていますが、雑菌などが気になる場合は市販のふろがま(配管)洗浄剤をお試しください。(ご使用後は必ず充分にすすぎをおこなってください)
＊ふろ配管クリーンによって配管内の残り湯を押し出すことができます。(☞P39)

● オイルタンク ●

オイルタンクに水が混ざると、オイルタンク内部のさび発生や不完全燃焼の原因になるため、定期的に水抜きをしてください。

1. オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける容器を置く。
2. ドレン抜きバルブを開け、約200cc排水する。
3. 容器にたまった液体が分離していれば灯油に水が混ざっているので、一度容器を空にし、再度約200cc排水する。(分離しなくなるまで、繰り返す)
   ※分離していなければ水は混ざっていないので、出た灯油はオイルタンクへ戻してください。
4. 水抜きが完了したら、ドレン抜きバルブを閉める。

● オイルストレーナー ●

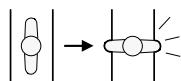
オイルストレーナーにゴミや水がたまるので、定期的に掃除をしてください。
わからないときは販売店にご相談ください。

1. オイルタンクの送油バルブを閉じる。
2. オイルストレーナーの下に、送油経路内の灯油を受ける容器を置く。
3. ケースを左に回して外す。
4. フィルターを下に引き外し、灯油で洗う。
   (汚れのひどいときはフィルターの交換(有料)が必要です。販売店へご連絡ください)
5. 元どおり取り付ける。
6. 油漏れのないことを確認する。
7. オイルタンクの送油バルブを開ける。

【屋外設置形の場合】　【屋内設置形の場合】

日常の点検・お手入れのしかた-2

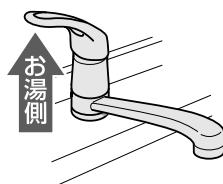
● 水抜き栓のフィルター ●

水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転スイッチ｢切｣にして機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

水抜き栓
※屋内設置形の水抜き栓の位置(☞P13)

給水元栓

1 給水元栓を閉める

2 すべての給湯栓を開ける

3 水抜き栓を外す

※このとき水(湯)が出るので注意してください

4 水抜き栓をバンドから外す

5 フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする

※水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください

6 元どおりに水抜き栓を取り付ける

7 すべての給湯栓を閉める

8 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する

定期点検(有料)

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。

なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、(社)日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて4～6年に1回程度の点検をおすすめします。

点検は販売店または、修理資格者[(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる店などにご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

＊：確認していただきたい事項です。

お湯(シャワー)を使うときに、おかしいな？と思ったら

? 給湯栓を開いてもお湯が出てこない

＊確認 オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？
＊確認 断水していませんか？
＊確認 給湯栓は充分開いていますか？
＊確認 灯油がなくなっていませんか？（なくなっている場合☞灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する）
＊確認 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていませんか？（☞P54）
＊確認 凍結していませんか？
＊確認 運転スイッチは「切」になっていませんか？
＊確認 送油経路に空気が残っていませんか？（☞P10）

? 給湯栓を開いてもすぐお湯にならない

＊機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。

? 低温のお湯が出ない

＊確認 オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？
＊確認 給湯温度の設定は適切ですか？（☞P20）
＊水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。
＊少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。

? 高温のお湯が出ない

＊確認 オイルタンクの送油バルブが全開になっていますか？
＊確認 給湯温度の設定は適切ですか？（☞P20）

? 給湯栓を絞ると水になった

＊給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約2L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。

? 給湯温度の調節ができない

＊確認 操作しているリモコンに 優先 または 優先 を表示していますか？（☞P21）

? 給湯栓から出るお湯の量が変化する

＊お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、ふろ自動をすると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。
＊混合水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。

? お湯が白く濁って見える

＊水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。

故障・異常かな？と思ったら-2

おふろに関して、おかしいな？と思ったら

? 設定したふろ温度どおりに沸き上がらない

＊お湯はり中にふろ温度を低く設定しなおした場合、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなることがあります。

? おふろのお湯がぬるい／おふろのお湯があつい

＊ 確認 ふろ温度の設定は適切ですか？（☞P27）
＊ 確認 浴槽の循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？（☞P52）
＊ 確認 浴槽の循環口のフィルターは確実に取り付けられていますか？上下の向きを合わせて、右に止まるまで回して固定してください。（☞P52）

? 設定したふろ湯量どおりに沸き上がらない

＊ 確認 浴槽の循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？（☞P52）
＊ 確認 ふろ湯量の設定は適切ですか？（☞P28）
＊ 確認 ふろ自動が完了しないうちに、ふろ自動スイッチを何度も「切」「入」しませんでしたか？
＊残り湯によっては、沸き上がり量が異なることがあります。（☞P26）
＊浴槽に人が入っているときにふろ自動スイッチを「入」にすると、お湯があふれることがあります。
＊P3「ふろ自動で困ったときは」をご覧ください。

? 浴槽の循環口から、「ボコ、ボコ」と空気の出る音がすることがある

＊おふろの配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。

? ふろ自動に通常より時間がかかる

＊ふろ自動中にお湯を使った場合、お湯はりを一時中断するため、沸き上がりが遅くなります。

? ふろ自動や追いだきを始めると、にごったお湯が出る

【ふろ配管クリーン（☞P39）をしていない場合】
＊ふろ自動や追いだきを始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。特に入浴剤（にごり系）をご使用の場合には目立つ場合があります。

? 浴槽の循環口からお湯が出たり止まったりする

＊ふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくは循環口からお湯が出たり止まったりします。

? お湯はりの初めに水が出る

＊水温が高いときや、ふろ温度を低く設定しているときは、お湯はりの初めに水が出る場合があります。

? おふろを使用していないのに、浴槽の循環口からお湯が出る

＊凍結予防のためポンプが回り、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。

（つづく）

（つづき）

? 追いだきができない／追いだき中に消火した

＊ 確認 浴槽の循環口上部より5cm以上お湯または、水が入っていますか？
＊ 確認 ポンプの呼び水をしましたか？（☞P11）
＊ 確認 浴槽の循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？（☞P52）

? 追いだき時、循環口から出るお湯の温度が変化する

＊しくみ上、断続的に燃焼と消火を繰り返すことがあります。

リモコンがおかしいな？と思ったら

? 運転ランプが点灯しない

＊ 確認 停電していませんか？
＊ 確認 電源プラグが差し込まれていますか？

? 時計表示が「ー:ーー」になっている

＊停電後、再通電すると時計表示が「ー:ーー」になりますので、時計を合わせなおしてください。

? 表示の節電の状態にならない

＊ 確認 表示の節電「する」に設定していますか？（☞P45～46）
＊給湯温度を60℃に設定している場合は、表示の節電はしません。
＊ふろ自動ランプ点灯中は、表示の節電はしません。

? リモコンの画面表示がいつのまにか消えている

＊機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。（☞P38）
再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。

? スイッチを押しても、そのスイッチの動作をしない（例）運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに、切れていない　など・・・

＊表示の節電中は、１回押すと表示の節電を解除し、もう１回押すとそのスイッチの機能がはたらくスイッチと、１回押すだけでそのスイッチの機能がはたらくスイッチがあります。（☞P38）
運転「入」「切」は、運転ランプの点灯・消灯で確認してください。

? 燃焼表示が点灯したり、消灯したりする

＊しくみ上、断続的に燃焼と消火を繰り返すことがあります。

? リモコンに❄マークが表示している

＊凍結予防のためポンプが作動しているときに表示します。（☞P48）

故障・異常かな？と思ったら-3

機器がおかしいな？と思ったら

? 使用中に消火した

＊ 確認 オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？
＊ 確認 断水していませんか？
＊ 確認 給湯栓は充分開いていますか？
＊ 確認 灯油がなくなっていませんか？（なくなっている場合☞灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する）

? 運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音（ブーン）がする 運転スイッチを「入」「切」したとき、給湯栓を開閉したとき、給湯温度を変更したときなどに、モータが動く音（ウィンウィン）がする

＊再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。

? ポンプの回転音（ウーン）がする

＊追いだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。
＊ふろ自動の予約時、予約時刻の1～2時間前に、残り湯チェックのためポンプの運転をします。
＊気温が下がると、凍結予防のため、ポンプを作動させます。

? 運転中にときどき「ビー」という音がする

＊灯油をくみ上げるために、くみ上げポンプが作動している音です。

? 運転中にときどき「カチッ」という音がする

＊しくみ上の音であり、異常ではありません。

? 給湯栓の開閉時にときどき「パキパキ」という音がする

＊熱交換器内で圧力が上がり、一時的に温度が上がるため、音がします。

? 寒い日に排気口・排気筒トップから湯気が出る

＊冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。

? 浴槽の循環口からあつい湯や湯気が出たり、循環口のまわりが高温になったりする

＊お湯を使用すると、ふろ配管に残っている水があたためられ、湯や湯気になって出ることがあります。

? 過圧防止安全装置（水抜き栓）から、お湯（水）が少しの間出ることがある

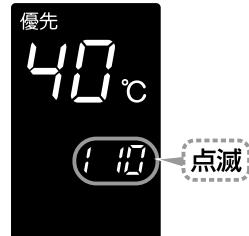
＊機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、過圧防止安全装置（水抜き栓）から水滴が落ちることがあります。

? 水が青く見える／浴槽や洗面台が青く変色した

＊浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分（湯あか）により青く着色することがありますが、 健康上問題ありません。
浴槽や洗面台をこまめに掃除することにより、着色しにくくなります。

故障表示が出ているときは

不具合が生じたとき、時計表示部に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。
（お客さまで対処できるもののみ記載しています）

【浴室リモコンの表示例】

【台所リモコンの表示例】

故障表示	原　因	処　置
002	初めてふろ自動をするとき、浴槽に試運転時の水などが残っていたため	再度ふろ自動スイッチを押すと故障表示が消えますので、次回ふろ自動をするとき、浴槽内に残り湯がない状態でおこなってください。（それ以降は残り湯があってもふろ自動ができます）
011	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
012	追いだきを連続90分以上運転したため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。
032	浴槽の排水栓の閉め忘れ	浴槽の排水栓を閉め、再操作をして表示が出なければ正常です。
100	対震自動消火装置の作動	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ※地震による場合は機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください。
110 120	＊燃焼制御装置の非検知 ＊灯油切れの可能性があります	①運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ②上記操作後も表示が出る場合は、オイルタンクの残量を確認し、減っていれば給油してください。その後、再度①の操作をしてください。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
562	断水などで水が通っていないため（ふろ自動、追いだき、たし湯、たし水の時）	給湯栓が開いているか、断水していないか（水栓から水が出るか）を確認し、いったん運転スイッチを「切」にし、通水を確認してから再使用してください。
632	追いだきの時、浴槽のお湯（水）が足りない	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にし、浴槽のお湯（水）を循環口の上部より5cm以上入れてから追いだきをしてください。
	循環口のフィルター詰まり、または、フィルターが正常に取り付けられていないため	循環口のフィルターが詰まっていないか、フィルターが正常に取り付けられているか確認して、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
800	オイルセンサー検知	オイルタンクの送油バルブを閉めてから、販売店または、弊社へご連絡ください。

● 以下の場合は、販売店または、弊社にご連絡ください ●

＊上記以外の表示が出るとき　＊上記の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき　＊その他、わからないとき

部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたら販売店に相談していただき、修理資格者[（財）日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など]の修理をお受けください。

リモコン音声一覧／初期設定一覧

リモコン音声一覧

操作の一例を記載しています。

操作	スイッチ	条件など	音声
運転「入」	（運転 入/切）スイッチ「入」	給湯温度55℃以下のとき	♪
		給湯温度60℃のとき	♪ あついお湯が出ます
時計を合わせる＜台所リモコン＞	（時計合わせ）スイッチ		♪ 時刻が変更できます
	▼（すすむ 時刻 もどる）スイッチで時刻設定		
	▼（時計合わせ）スイッチ		♪ 設定しました
お湯の温度を調節する	（給湯温度）スイッチで温度調節	給湯温度55℃以下に調節	♪ 給湯温度を○度に変更しました
		給湯温度60℃に調節	♪ あついお湯が出ます 給湯温度を60度に変更しました
		そのリモコンが優先でないとき	♪（ピピピ音）
	＜浴室リモコン＞ （優先）スイッチ「入」		♪ 給湯温度が変更できます
	スイッチ「切」		♪ 給湯温度が○度に変更されました
		優先切替後、給湯温度が60℃になったとき	♪ あついお湯が出ます 給湯温度が60度に変更されました
おふろにお湯をためる・沸かす	（ふろ自動）スイッチ「入」		♪ お湯はりをします
		沸き上がり	♪♪♪～ おふろが沸きました
ふろ温度を調節する＜浴室リモコン＞	（ふろ温度）スイッチで温度調節		♪ おふろの温度を○度に変更しました
ふろ湯量を調節する＜浴室リモコン＞	（ふろ湯量）スイッチで湯量調節		♪ おふろの湯量を変更しました
追いだきをする	（追いだき）スイッチ「入」		♪ 追いだきをします
たし湯をする＜浴室リモコン＞	（たし湯）スイッチ「入」		♪ たし湯をします
	たし湯中に（ふろ湯量）スイッチでたし湯量調節		♪ たし湯の量が変更されました
たし水をする＜浴室リモコン＞	（たし水）スイッチ「入」		♪ たし水をします
	たし水中に（ふろ湯量）スイッチでたし水量調節		♪ たし水の量が変更されました

（つづく）

（つづき）

操作	スイッチ	条件など	音声
お好みの時刻に沸き上がるよう設定する＜台所リモコン＞	（ふろ予約）スイッチ		♪ ふろ自動の予約ができます
	▼（すすむ／時刻／もどる）スイッチで時刻設定		
	▼（ふろ予約）スイッチ		♪ 予約を設定しました
リモコンの音量を変更する	（音量）スイッチで変更		♪ 音量が変更できます ♪ 音量が変更されました
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす＜浴室リモコン＞	（呼出）スイッチ「入」		♪♪♪ ～ おふろで呼んでいます
ふろ配管クリーン		開始時	♪ おふろの配管クリーンをします

初期設定一覧

項目	初期設定
時計表示（未設定時）	－：－－
給湯温度	40℃
ふろ温度	40℃
ふろ湯量	6（200L）

項目	初期設定
たし湯量	20L
たし水量	10L
音量	2（中）

項目No.	項目	初期設定
1	音声ガイド	on（あり）
2	表示の節電	1（する）
4	沸き上がり後の自動保温時間	4時間
9	給油のお知らせ設定値	表示なし（お知らせしない）
11	給湯温度の上限（最高温度）	60℃
13	追いだき時の沸き上がり温度	0（浴槽の湯温＋1℃）
14	沸き上がりのお知らせ ／ 台所で追いだきした場合の 追いだき完了のお知らせ	1（1回お知らせ）
15	浴室で追いだきした場合の追いだき完了のお知らせ	oF（お知らせしない）

※P47「一部の設定をリセットする」をすると、上記項目と「音量」が初期設定に戻ります。

主な仕様

項目		
品名		CKX-P470AF
型式の呼び		CKX-P470AF(OTQ-4701AY)
種類	燃焼方式	圧力噴霧式
	給排気方式	屋外用開放形
	給水方式	水道直結式
	加熱形態	瞬間形
	加熱方式	2缶2水路式(1バーナ)
	循環方式	強制循環式
点火方式		高圧放電式
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)
燃料消費量	給湯側	5.3L/h
	ふろ側	1.6L/h
出力	ふろ側	15.0kW
湯沸効率	ふろ側	81.0%
連続給湯効率	給湯側	86.5%
連続給湯出力	給湯側	46.5kW
熱交換器容量	給湯側	1.0L
	ふろ側	0.4L
使用圧力		1MPa以下
伝熱面積	給湯側	1.29m^2
	ふろ側	1.29m^2
外形寸法		高さ725mm 幅580mm 奥行250mm
質量		40kg
電源電圧及び周波数		100V　50／60Hz
定格消費電力	給湯使用	点火時：85W/80W　燃焼時：95W/90W
	給湯･ふろ同時使用	点火時：165W/185W　燃焼時：160W/180W
	凍結予防ヒーター	177W
待機時消費電力		運転スイッチ｢入｣時：6.3W(通常モード) 3.1W以下(省電力モード)、運転スイッチ｢切｣時：2.9W以下
排気温度		260℃以下
騒音レベル		47dB(Aレンジ)
基準浴槽		200L
電流ヒューズ		10A
温度ヒューズ		缶体温度ヒューズ：184℃
安全装置		対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置、空だき防止装置(ふろ)、電動機の過負荷保護装置
その他の装置		漏電安全装置、温度ヒューズ、凍結予防ヒータ、油漏れ検知装置、排気温度検知装置、逆流防止装置
付属品		送油管 台所リモコン(M-034DA)及び取付部材、台所リモコンコード、 浴室リモコン(F-034DA)及び取付部材、浴室リモコンコード

項目		仕様
品名		CKX-P4700AE
型式の呼び		CKX-P4700AE(OTQ-4701AF)
種類	燃焼方式	圧力噴霧式
	給排気方式	屋内外兼用半密閉式強制排気形／屋外用開放形
	給水方式	水道直結式
	加熱形態	瞬間形
	加熱方式	2缶2水路式(1バーナ)
	循環方式	強制循環式
点火方式		高圧放電式
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)
燃料消費量	給湯側	5.3L/h
	ふろ側	1.6L/h
出力	ふろ側	15.0kW
湯沸効率	ふろ側	81.0%
連続給湯効率	給湯側	86.5%
連続給湯出力	給湯側	46.5kW
熱交換器容量	給湯側	1.0L
	ふろ側	0.4L
使用圧力		1MPa以下
伝熱面積	給湯側	1.29m^2
	ふろ側	1.29m^2
外形寸法		高さ790mm 幅290mm 奥行620mm
質量		45kg
電源電圧及び周波数		100V　50／60Hz
定格消費電力	給湯使用	点火時：85W/80W　燃焼時：95W/90W
	給湯･ふろ同時使用	点火時：175W/195W　燃焼時：170W/190W
	凍結予防ヒーター	193W
待機時消費電力		運転スイッチ「入」時：6.3W(通常モード) 3.1W以下(省電力モード)、 運転スイッチ「切」時：2.9W以下
排気筒の呼び径		106mm
排気温度		260℃以下
騒音レベル		47dB(Aレンジ)
基準浴槽		200L
電流ヒューズ		10A
温度ヒューズ		缶体温度ヒューズ：184℃、機具後面温度ヒューズ：130℃
安全装置		対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置、空だき防止装置(ふろ)、電動機の過負荷保護装置
その他の装置		漏電安全装置、温度ヒューズ、凍結予防ヒータ、油漏れ検知装置、排気温度検知装置、逆流防止装置
付属品		ゴム製送油管、ゴム製送油管締付バンド、タケノコパイプセット、オイル接続管、ホッパー 浴室リモコン(F-034DA)及び取付部材、浴室リモコンコード、台所リモコンコード 排気筒トップ、アルミテープ、化粧カバー、操作部カバー

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P55〜59の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社にご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

製品名 ····················· 機器正面に貼り付けてある銘板をご覧ください
設置日 ····················· 保証書をご覧ください
異常の状況 ················· 故障表示など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。（工事店にご相談ください）

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
必ず「販売店名・設置日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

据え付け

据え付け場所の選定および標準据え付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、販売店または、据え付け業者とよくご相談してください。また「標準据え付け例」については、工事説明書の「標準据え付け図例」をご確認ください。

騒音防止について

設置場所の選びかた次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう、充分配慮して設置場所を選択してください。（販売店とよく相談してください。）
＊夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の使用には気を配りましょう。
＊隣家からなるべく離して設置してください。
＊ブロック塀などが近くにある場合は、音が反響して大きくなることがありますのでご注意ください。

据え付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

試運転

「試運転」については、工事説明書の「試運転」をご確認ください。